

第七十九回  
帝國議會  
貴族院

## 所得稅法中改正法律案特別委員會議事速記錄第二號

昭和十七年二月九日(月曜日)午前十時四  
十四分開會

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレデハ是カラ委員會ヲ開キマス、大臣ハ豫定ヨリチヨツト遅レルサウデゴザイマスカラ、政府委員ニ御質問デモアリマスレバ、ドウカ大臣ノ出席セラレル迄御質問ヲ願ヒタイト思ヒマ

○松村義一君 極ク簡單ナ事デスガ、チヨツト御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ先達テノ會議ノ時ニ、三浦サンカラ御尋ニナッテ、政府委員カラ御答ニナツタ點デゴザイマス、不動産ノ讓渡ノ場合ニ於ケル臨時利得税、多少意見ニモ瓦リマスノデアリマスガ、私モ三浦サント同ジヤウニ、一般ノ物價ガ騰貴シタ時ソレニ順應シテ不動産ノ價格モ得税ヲ取ラレルト云フコトハ甚ダ無理デハ

○政府委員(松隈秀雄君) 松村委員ノ御質疑ハ、誠ニ御尤ナ點ガアルト存ズルノデゴザイマス、今回不動産ノ讓渡利得ニ對シマシテ課稅ヲ致シマシタ趣旨ハ、別ニ之ヲ以テ財產ノ利得デモ何デモナイン、金錢ニ見積レバ物價ハ高クナツテ居ルカラ儲ツテ居ルヤウニ見ラレルノデスガ、實際物價ノ言ハレルヤウニ利得デモ何デモナイン、金錢ニ見積レバ物價ハ高クナツテ居ルカラ儲ツテ居ルヤウニ見ラレルノデスガ、實際物價が高クナツテ居レバソレハ儲ケニナツテ居スト云フノガ、矢張リ當リ前ノ見方デヤナカト思フノデアリマス、ソレハ特別ノ文化施設ニ依ツテ非常ニ豫算ガ多クナツト云フ場合ニ於テ、利得税ヲ課スルノハ相當ダント思ヒマスケレドモ、單純ニ物價ノ騰貴ニ順應シテ高クナツト云フ場合ニ、不動産ノ讓渡ニ於テ得利税ヲ取ラレルノハドウモ無理デヤナカト思フ、ゾレハ結局一種ノ財

產稅デアル、品物ヲ賣却シタ時ニ其ノ財產税ヲ納メサスナラバ、丁度金ノ入ッタ時デアルカラ、財產稅ガ納メ易イト云フ結論ト同ジデハナイカト斯ウ思フノデアリマス、ソレデ財產稅ニ付キマシテハ、衆議院デ色々質問ガアリ、又政府委員カラ御答ガアツタヤウデアリマスガ、是ハ將來ニ於テ考究ヲスルト云フヤウナコトニ結局終ツテ居リマス、處ガ今度不動産ノ讓渡ニ付テ利得税ヲ取ラレルト云フ場合デ、今ノ物價騰貴ニ順應シタ部分ダケヲ取ルト云フコトハ、今不動產ニ付テハ一種ノ財產稅ヲ始メラレル譯ニナツテ居ル斯ウモ思フノデアリマス、從ツテ是ガ將來財產稅ヲ設ケラレル前提ニナル、ト云フヤウナコトモベラレルノデアリマスガ、其ノ邊ニ付キマシテ尙一つ能ク御説明ヲ伺ッテ見タイト、斯ウ思フノデアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 松村委員ノ御質疑ハ、誠ニ御尤ナ點ガアルト存ズルノデゴザイマス、今回不動産ノ讓渡利得ニ對シマシテ課稅ヲ致シマシタ趣旨ハ、別ニ之ヲ以テ財產ノ利得デモ何デモナイン、金錢ニ見積レバ物價ハ高クナツテ居ルカラ儲ツテ居ルヤウニ見ラレルノデスガ、實際物價ノ言ハレルヤウニ利得デモ何デモナイン、金錢ニ見積レバ物價ハ高クナツテ居ルカラ儲ツテ居ルヤウニ見ラレルノデスガ、實際物價が高クナツテ居レバソレハ儲ケニナツテ居スト云フノガ、矢張リ當リ前ノ見方デヤナカト思フノデアリマス、ソレハ特別ノ文化施設ニ依ツテ非常ニ豫算ガ多クナツト云フ場合ニ於テ、利得税ヲ課スルノハ相當ダント思ヒマスケレドモ、單純ニ物價ノ騰貴ニ順應シテ高クナツト云フ場合ニ、不動産ノ讓渡ニ於テ得利税ヲ取ラレルノハドウモ無理デヤナカト思フ、ゾレハ結局一種ノ財

上リ迄、課稅スルト云フコトヲ避ケルト云フ考慮、ダケヲ拂ヒマシテ、課稅ヲ立案致シ、圖リマシタノデ、曩ニ船舶、鑛業權ノ讓渡ニ對シテ課稅ヲスルト云フ時ニ、考慮ニ入同ジデハナイカト斯ウ思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、是ハ戰時利得税ヲ今迄課シテ居リマシタ船舶並ニ鑛山ト云フモノト、少クノデアリマスルカラ、不動產ノ處分ニ依リマシテ得マシタ金額デアリマシテモ、其ノ際一不動產迄含メラドウカト云フコトデ研究ヲ致シタノデアリマスルガ、遂ニ不動產ダケハ取止メニナツタ次第アリマス、今回ハ各方面ニ亘ラマンテ課稅ノ範圍ヲ擴大致シマ

○松村義一君 今ノ御説明ニ依リマシテ、當ス、處ガ今度不動產ノ讓渡ニ付テモ、此ノ際デアルナラバ、其處迄課稅シテモ宜カラウデハナイカ、斯ウ云フ意味ヲ以テ豫テ研究モサレテ居タ問題デモアリマスルカラ、此處ニスルト云フヤウナコトニ結局終ツテ居リマス、處ガ今度不動產ノ讓渡ニ付テ利得税ヲ取入レラレタ譯デアリマス、一方株式ノ清算取引ノ所得ニ對シマシテモ、此ノ種ノ所得ハ相當擔稅力アリト認メテ課稅スルコトニ致シマシタノデ、ソレ等トモ見合ヒマシテ不動產ノ讓渡利得ニ對スル課稅ヲ開始致シタノデアリマス、唯御話ノ如ク讓渡利得ノ出マスル場合ハ、一般物價ノ値上リ等ニ依リマシテ、不動產ノ價格ノ上騰致シマシタ場合ガ普通ナノデアリマス、其ノ場合ニ於テ價格ガ上ルト云フコトハ、金錢ノ側カラ見レバ、金錢ノ價值ガ下ッタコトデアルカラシテ、不動產ノ處分ニ依ツテ得タ金錢ガ假令アツデモ、其ノ價值ガ下ッテ居ルノデアルカラ、ソレニ課稅スルコトハ無理デアルト、斯ウ云フ御議論モ成リ立ツカト思フノトハドウモ私ハ無理ガ行クノデハナイカ、尤モト思ヘマスガ、一般物價ノ値上リニ對斯ウ云フコトヲ尙考ヘテ居ルノデアリマスガ、意見ノ差ニナリマスカラ、是モ、尙讓渡利得ニ對シテ課稅スルト云フコトハドウモ私ハ無理ガ行クノデハナイカ、尤モト思ヘマスガ、一般物價ノ値上リニ對斯ウ云フコトガ私ハ適當デアルト思フノデトハドウモ私ハ無理ガ行クノデハナイカ、尤モト思ヘマスガ、一般物價ノ値上リニ對斯ウ云フコトヲ尙考ヘテ居ルノデアリマスガ、意見ノ差ニナリマスカラ、是モ、尙讓渡利得ニ對シテ課稅スルコトハ差控ヘマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、尙將來ノ實施ニ付キマシテ、能ク御考慮ナリ、御考究ヲ御願ヲ申上ゲタイト、斯様ニ思ヒマスアリマスガ、ソレニ課稅スルコトハ、尙將來ノ実施ニ付キマシテ、能ク御考慮ナリ、御考究ヲ御願ヲ申上ゲタイト、斯様ニ思ヒマスアリマスガ、是ハ戰時利得税ヲ今迄課シテ居リマセヌカ

○三浦新七君 只今ノ問題ニ付テモウ一ツ御考慮ヲ願フ點ヲ申上ゲタイト思フノデアリマスガ、是ハ戰時利得税ヲ今迄課シテ居リマシタ船舶並ニ鑛山ト云フモノト、少クトモ土地ト云フモノトハ性質ガ違フ、其ノコトハ、如何カト存ジマシテ、唯古クカラ

不動產ノ内ノ家屋ト云フモノガ稍、之ニ類似理チヤナカト思フ、ゾレハ結局一種ノ財

シテ居リマスガ、片方ノ方ハ鬼ニ角ソレヲ、  
使用スルコトニ依ツテ減價スルモノデアル、  
減價スベキ筈ノモノデアリマス、鑛山デモ  
亦船舶デモ……、ソレガ五箇年ナリ六箇年  
ナリ、使ツタ場合ニ於テ、尙利得シタ時ノ價  
格トノ相違ヲ臨時利得ト見ルト云フコトハ、  
如何ニモ理由ノアルコトグラウト思フノデ  
アリマス、又説明ガ付クト思フノデアリマ  
ス、土地ノ場合ニ於キマシテハ、サウ云ブ  
問題ハ起ツテ來ナイ性質ノモノデアル、詰  
リ五年間使ツタコトニ依ツテ其ノ物ノ價值……  
償却スベキ性質ノモノデハナイト私ハ思  
フ、ソレヲ同ジニ扱ツテ、片方ノ方ハ償却  
スペキモノヲ償却シナイ高デ見積ルノデア  
リマスカラ、又相當ニソレヲ課稅スルト云  
フ餘裕ガアルトハ思ヒマスガ、土地ニ付テ  
ハ其ノコトハ行ハレナイ、少シ事情が違フ  
ノデハナイカト云フ點ヲ御考慮ニ願ヒタイ  
ト思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 船舶、鑛業權ト  
較ベマシテ、土地建物等ノ不動産ニ付キマ  
シテハ、多少其ノ間ニ相違ガゴザイマスル  
コトハ、御説ノ通リデアリマシテ、其ノ點ガ  
幾分考慮セラマシタノデ、前回臨時利得  
稅中ニ船舶、鑛業權ノ讓渡利得ノ課稅ハ致  
シタノデアリマスルガ、土地建物ニ付テハ  
シタノデアリマスルガ、土地建物ニ付テハ、  
其ノ際ハ差控ヘタノデアリマス、御承知ノ  
通り大東亞戰爭勃發以來、臨時軍事費ヲ始  
メテ致シマシテ、各種ノ國費ガ増シテ參リ  
シマシタ、戰時財政ヲ強化スル必要上各方面  
ニ於テ相當ノ財源ヲ求メマシタノデアリマ  
ス、一例ヲ建物等ニ付テ申上ゲマシテモ、  
最近ニ於キマシテハ、住宅ノ拂底等カラ致  
シマシテ、建物ガ以前ニ建ツタ當時ノ價格ヨ  
リモ、數年間住シテ、實ハ古クナッタノニ拘  
ラズ元ノ値段、或ハソレ以上デ賣レルト云  
キナ著目スベキモノト致シマシテハ、所謂  
一時所得ノ課稅デゴザイマシタ、年々反復

シテ入ッテ來ルノデハナイケレドモ、一時  
ニ所得ガアッタ、斯ウ云フ場合ノ課稅ガ諸  
外國ノ立法例等ニ較ベテ見テモ、ドウモ落  
チテ居ルヤウデアル、一時所得ト云フモノ  
ハ見方ニ依ルト云フト、一時限リノ所得デア  
ルカラ擔稅力ガナイ、斯ウ云フ見方モアリマ  
スルケレドモ、又見方ニ依ルト云フト、一  
時ニウマイ、豫期セザル所得ガアッタト、  
斯ウ云フコトカラ、相當課稅シテモ差支ヘ  
ナイン、斯ウ云フヤウナ見方モ出來ルノデア  
リマス、ソコデ今回ハ株式ノ讓渡ニ依ル所  
得ト、土地建物ノ讓渡ニ依ル所得ニ眼ヲ著  
ケタノデアリマス、株式ノ場合ニ於テハ實  
物ノ賣買ニ課稅致シマスレバ一層徹底スル  
ノデアリマスガ、是ハ一方ニ於テ堅實ナル  
投資ヲ阻害致シマスル處ガアリマスシ、又  
ニ於ケル賣買ハ捕捉ガ完全デアリマスルケ  
レドモ、市場外ハ捕捉困難ノ爲ニ、課稅ニ  
不均衡ヲ來スト云フコトデ、是ハ見送ラレ  
マシタ、市場ニ於テナサレマス株式ノ清算  
取引ダケニ課稅致シタノデアリマス、土地  
建物ニ付キマシテハ、曩ニモ申上ゲマシタ  
通り、船舶、鑛業權トハ幾分違ツタ點ガアル  
ノデアリマスケレドモ、尙土地建物ニ投資  
ラシマシテ、值上リ俟ツテ賣டテ、ソコニ  
相當ノ利得ヲ得ル者モアル實情デゴザイマ  
ス、一例ヲ建物等ニ付テ申上ゲマシテモ、  
最近ニ於キマシテハ、住宅ノ拂底等カラ致  
シマシテ、建物ガ以前ニ建ツタ當時ノ價格ヨ  
リモ、數年間住シテ、實ハ古クナッタノニ拘  
ラズ元ノ値段、或ハソレ以上デ賣レルト云  
キナ著目スベキモノト致シマシテハ、所謂  
一時所得ノ課稅デゴザイマシタ、年々反復

スノデ、戰時下ニ於ケル財政ヲ強化スル爲  
ニ、各方面ニ財源ヲ求メトスルナラバ、  
云フ稅ガ創設、サレルカドウカト云フコトハ  
是等ノモノ迄及ブノハ今日已ムヲ得ナイ所  
デハナカラウカト云フコトデ、新タニ課稅  
ヲ始タルコトニ致シマシタノデアリマスル  
ガ、其ノ性質ニ鑑ミマシテ、課稅ヲ致スニ  
當リマシテハ、御説モゴザイマスルノペ、  
十分慎重ヲ期シ、且注意ヲシテ参りタイト  
存ジテ居ル次第デアリマス。

○三浦新七君 能ク分リマシタ、實ハ私、其ノ  
問題ヲ考へマシタノハ、是カラ、ドウモ矢  
張リ斯ウ云フ工合ニ段々租稅ヲ強化シテ行  
クト云フコトノ爲ニハ、此ノ増價稅ト申シ  
マスカ、値段ガ上ツタト云フコトニ付テノ課  
稅方面ニドウシテモ行カナケレバナラナイ  
ヤウナ状態ニナリハセヌカ、サウ云フ場合  
ニ一般ノ物價騰貴ト云フ問題ヲ考ニ入レテ  
戴キタイ、斯ウ云フヤウナ希望カラ實ハ問  
題ヲ提出致シマシタノデアリマス、今ノ御  
話ノ如ク現實ノ場合ニ於テ家屋ノ賣買等ニ  
於テ利益ヲ取ツテ居る者モ澤山アル譯デア  
リマスカラ、ソレニ付テ別ニ彼此申ス意味  
デヤナカッタノデアリマスカラ、若シサウ云  
フヤウナ問題が起リマシタ場合ニ於テ此ノ  
増價稅ノ問題ニ付テ此ノ問題ヲ能ク御注意  
願ヒタイト存ジマス。

○政府委員(松隈秀雄君) 今回ノ課稅ハ財  
產ヲ處分シタ時ノ課稅デアリマスルカラ、  
處分價格ト云フモノガ比較的明瞭デアルト  
思フノデゴザイマスガ、此ノ課稅ガキッカケ  
ニナツテ、將來ニ於テ財產ヲ處分シナイ場合  
ニ於テモ財產ノ評價増ヲ致シマシテ課稅ヲ  
スル、所謂一般財產稅ニ類スル課稅ニ相成  
ル譯デアリマスガ、サウ云フ財產稅ノヤウ  
ナモノヲ起スカドウカト云フコトハ慎重考  
慮ヲ要スル問題デゴザイマスノデ、今サ  
ニ、各方面ニ財源ヲ求メトスルナラバ、  
云フ稅ガ創設、サレルカドウカト云フコトハ  
明言出來ナインデゴザイマス、サウ云フ場  
合ニ於テ一般ノ値上リ等ヲ考慮スルト云フ  
コトハ御説ノ通り十分注意シテ参ラナケレ  
バナラヌコトダト思ッテ居リマス。

ノ上ニ於キマシテ利益ドコロデハナイ、收益ノ割合カラ見マスト、非常ナ計算上デハ損害ニナツテ居ル、加フルニ今次ノ如ク總テノ資材其ノ他勞力ノ不足ノ場合ニハ、植林ト云フコトニ付テ自然ニ委セル人間ガ多イノデ、自ラ手ヲ下シテヤル人ハナイト云ツテ宜イ位デアルノデアリマス、ソレニ税ヲ課増スルト云フコトハ、此ノ植林思想ノ涵養ノ上ニ大キナ妨害ニナルト思フノデアリマスガ、之ヲ全廢スルコトガ私ハ最モ宜シイト思フ、是ハ國土保安ノ大局の見地カラシテ極メテ微々タル稅額ト云ツテモ宜シイノデアリマス、此ノ收益ノ稅表ニ依ツテ見マスト云フト、十五、十六年ノ國庫收入ハサウ大シタモノデハナイ、デアリマスカラ、全廢スルニ至ラザルトモ、尠クトモ減額ヲスルト云フコトガ、是ハ大局ノ上カラ極メテ適當デハナイカト云フコトヲ感ズルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、何等方御詮議ニナツテ居ルコトデアラウト思フノデアリマス、政府ノ其ノ點ニ付テノ御詮議振リヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

ニ於キマシテモ、相當注意が拂ハレテ居ル  
ノデゴザイマスガ、今回ハ稅制ノ根本的ナ改  
正ト云フ譯デゴザイマセヌデ、大體現行ノ所  
得稅ノ建前ヲ維持シツ、稅率ニ付テ或程度  
ノ引上ヲ行フコトニ致シマシタ關係上、山  
林ノ所得ニ付キマシテモ、從來ト同ジヤウ  
ナ考ヲ以チマシテ、既ニ考慮ガ拂ハレテ  
居ルノデアリマスカラ、稅率ニ付キマシテ、  
他ノ稅率ノ引上工合ト權衡ヲ保持シツ、其  
ノ稅率ヲ定メタヤウナ次第デアリマス、尙  
山林ノ課稅ノ問題ハ、稅率ノ外ニ、實際問題  
トシテ山林ノ所得ヲ如何ニ認定スルカト云  
フ所ニ相當ノ問題ガアルト思フノデゴザイ  
マス、山林ノ所得ノ計算ニ當リマシテハ、  
種苗費、詰リ苗ノ代金デアリマス、ソレカ  
ラ植栽費、或ハ中途ニ於テ下草ヲ取ッタリ、  
下枝ヲロシタリ致シマスヤウナ、所謂管理  
費用ヲ控除致シテ居ルノデアリマスガ、是  
等ノ費用ノ見方ニ付キマシテ、或ハ納稅者  
ト徵稅官廳トノ間ニ意見ノ相違ガアル場合  
ガアリマス、是ガ山林所得ニ付テ苛酷ニ感  
ゼラレル場合ガアルト思フノデゴザイマス  
ルカラシテ、山林所得ノ課稅ノ實際ノ運用ト  
致シマシテ注意シテ參ルコトニ致シタイト  
存ジテ居リマス

レタル所ノ責任ト云フモノハ相當大キナ責  
任ガ課セラレテ居ルヤウデアリマス、此ノ  
爲ニ業者ハ是迄ヨリカ唯此ノ稅法施行ノ爲  
ニノミ多數ノ使用人ヲ要スルコトニ相成ル  
ト考ヘラレル、從ツテ業者ノ苦痛ト云フモ  
ノハ相當大キイト思フノデアリマスルガ、是等  
ハ已ムヲ得ザルモノト考ヘルヨリ外ニ途ハ  
ナイノデアリマセウカ、何等カ此ノ第九條  
ニ依ル業者ノ責任ヲ緩和スル途ハナイモノ  
デアリマセウカ、其ノ點ヲ一つ伺ヒタイト  
思ヒマス。

○政府委員(松隈秀雄君) 電氣瓦斯稅ノ課  
稅ニ依リマシテ、幾分消費ノ減退ノ生ズル  
ト云フコトハ豫想サレル所デアリマシテ、  
本稅ヲ設ケマシタコトノ半面トシテ、不要  
不急ノ消費ニ付テノ抑制ヲ圖ル、斯ウ云フ  
ヤウナ趣旨モ含マレテ居リマスルノデ、其  
ノ結果電氣瓦斯業者ノ方ノ採算ニ響イテ參  
ルコトハ多少アルト思フノデアリマスガ、  
時局下ニ於キマシテハ電氣瓦斯稅ノ課稅ノ  
對象トナツテ居リマスルヤウナ電氣瓦斯ハ  
出來得レバ之ヲ節約シマシテ、軍需工業甚  
ノ他時局下ニ於テ必要ナル方面ノ產業ニ向  
ケラレルコトヲ國家ト致シマシテモ希望シ  
テ居ルノデアリマスルカラ、其ノ邊ハ已ム  
ヲ得ナイ所ニ出デテ居ルノデハナイカト固  
フノデゴザイマス、餘ツテシマフト云フコ  
トハナイノデアリマシテ、需用ノ轉換ト云  
フ程度デアラウト存ズルノデゴザイマス、  
次ニ第九條ニ依リマシテ、業者ハ申告義務  
ヲ負ハサレテ居ルノデゴザイマス、是ガ粗  
當業者ノ事務分量ヲ増シマシテ、從ツテ  
次ニ第九條ニ依リマシテ、業者ハ申告義務

此ノ問題ガ起ルノデゴザイマスル、新稅ヲ設ケマスル際ニハ兎毛居ルモノモアリマスガ、大體徵收交付金ヲ與ヘナイデモ業者ノ負擔ニ於テヤッテ行ケルデアラホト云フ見透シノ下ニ徵收交付金ヲ與ヘナイモノモアルノデアリマス、譬テ申上ゲマスレバ、入場稅、通行稅等モ各業者ガ徵收シテ政府ニ納メルコトニ相成ツテ居リマス、是等ニ付テハ相當ノ人員ニ相成ルノデアリマスルガ、徵收交付金ヲ出しシテ居ラナイノデアリマス、電氣瓦斯稅ノ課稅ノ對象ト致シマシテハ、的確ナ見積ハ困難デアリマスルガ、大凡ノ見積ト致シマシタリハ、全需用戸數ノ二割程度以内デアルト思テ居リマスルノデ、其ノ程度ノ納稅義務考ニ關シマスル申告書ヲ提出致シマシタリ、政府ニ稅金ヲ拂込ムコトデアリマスルコトヲバ、斯ウ云フ時局下デアリマスルノデ、交付金ヲ出サズニ業者ノ協力ニ依ツテ此ノ稅金ヲ執行セラレテ行クコトヲ政府ガ切望致シマシテ、特ニ徵收交付金ヲ豫算ニ要求スルト云フコトヲ致ナカッタヤウナ次第デリマス。

此ノ負擔ヲ尙課スルト云フコトハ少シ苛酷  
デヤナイカト云フ感ジヲ持ツノデアリマス、  
其ノ點ハ一ツ後ノ機會ニ政府ニ於テ御考慮  
ヲ私ハ希望ヲ致シテ置キマス

○政府委員(松隈秀雄君) 第八條ノ末項ニ  
依リマシテ、料金ガ一月ニ満タザル期間、  
又ハ一月ヲ超ニル期間ニ依ツテ支拂ハレマ  
シタ場合ニ於キマシテ、一月ノ料金ノ算定  
ハ日割計算ト云フコトニ相成ツテ居ルノデ  
ゴザイマスガ、是ハ或程度面倒ナコトデア  
ルト思フノデアリマスルガ、此ノ施行ニ當  
リマシテハ業者ノ意見モ參照致シマシテ、通常  
出來ルダケ簡単ナ方法ヲ執リマシテ、通常  
ノ月ニ於テハ檢針日ガ前後數日動キマシテ  
モ、免稅點ニ關係ノナイ程度デアレバ檢針  
シタ結果、徵收スル料金ニ依ツテ課稅シテ  
戴キ、唯免稅點ニ關係ノアル所ダケハ正確  
ニ計算スル必要ガアリマスルノデ、ソレニ  
付テハ便宜速算表ノヤウナモノヲ作リマシ  
テ、出來ルダケ手續ヲ簡略ニ致シタイト思ツ  
テ居リマスルノデ、施行ノ曉ニ於キマシテ  
ハ、業者トモ能ク協調致シタイト思ツテ居  
リマスガ、何ニシテモ業者ノ負擔ガ殖エ、  
經費ガ増スコトハ事實デアリマスルノデ、  
御説ノヤウナ點ニ鑑ミマシテ、尙施行ノ狀  
況ヲ能ク見マシタ上考ヘテ見タイト思ヒマ  
ス

○中島徳太郎君 法人ノ寄附金ニシテ一定  
限度ヲ超ユルモノハ課稅標準ノ計算上之ヲ  
損金ニ算入セザルコトナッテ居リマスガ、  
此ノ一定限度ト云フノハドコ迄ヲ一定限度  
トセラレルノデアリマセウカ  
○政府委員(松隈秀雄君) 一定限度ニ付キ  
マシテハ命令案要綱ニ記載シテ御示シテア  
ルノデゴザイマスルガ、臨時租稅措置法命

令案要綱ノ八ニ、法案第一條ノ十六關係ト  
致シマシテ、「法人ノ爲シタル寄附金(國防獻  
金及恤兵金ヲ除ク)ニシテ當該事業年度ノ所  
得金額ニ百分ノ一・五程度ヲ乘ジテ算出シタ  
ル金額ト資本金額ニ年千分ノ二乃至三程度  
ヲ乗ジテ算出シタル金額トノ合計額ノ一分  
ノ一ニ相當スル金額ヲ超ニルトキハ其ノ超  
過額ハ法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依  
ル純益及臨時利得稅法ニ依ル利益ノ計算上  
之ヲ損金ニ算入セザルコト」ト斯ウ書イテゴ  
ザイマスル、標準ガ一ツアルノデアリマス、  
其ノ二ツノ標準カラ出テ來タモノヲ加ヘテ  
ニデ割ヅテ標準トスル、斯ウ云フコトニナッ  
テ居リマス、只今モ讀上ゲマシタ通り、利  
益ノ二分五厘、ソレカラ資本金額ノ千分ノ  
二乃至千分ノ三トスウ云フコトニナッテ居  
リマス

○中島徳太郎君 法人デ一定ノ限度ヲ認メ  
ラル、コトニナリマスト云フト、個人ノ綜  
合所得ニ於テモ、時局柄國策ニ依ツテ色々  
義務的ト云フ譯デモナイガ、殆ド稅金フヤウ  
ニシテ寄附ヲ出サネバナラ又機會ガ隨分ア  
リマスガ、是ハ個人ノ綜合所得稅ニ付テ控  
除セラレルト云フ御意思ハナイモノデヤウ  
カ

○政府委員(松隈秀雄君) 個人ニ於キマシ  
テモ或程度ノ寄附ヲ爲シツ、アル狀況ハ御  
話ノ通リデアリマス、從來モ法人ノ寄附ト  
個人ノ寄附ニ付キマシテハ、取扱方違ツテ  
損金ニ算入セザルコトナッテ居リマスガ、  
此ノ一定限度ト云フノハドコ迄ヲ一定限度  
トセラレルノデアリマセウカ  
○政府委員(松隈秀雄君) 一定限度ニ付キ  
マシテハ命令案要綱ニ記載シテ御示シテア  
ルノデゴザイマスルガ、臨時租稅措置法命

承知ノ通り個人ニ於キマシテハ法人ト違ヒ  
マシテ、一切ノ收入ヲ所得トシテ居ラナイ  
マデアリマシテ、例ヘバ先程モチヨット話ガ  
ノデアリマスシ、又預金、公債、社債ノ利子等デ、  
総合課稅ニ代ル源泉課稅ハ致シテ居ルノデ  
アリマスケレドモ、一切ノ財產ノ所得ガ綜  
合サレテ居ラナイト斯ウ云フヤウナ關係モ  
ゴザイマス、又個人ノ所得ノ計算ハ所得ヲ  
得ルニ必要ナル經費ニ限ヅテ引ク、トスウ云  
フヤウナ建前ニモナシテ居リマスルノデ、現  
在ノ所個人ノ寄附金ヲ個人ノ綜合所得稅ヲ  
課スル際ニ經費のニ見テ引クト云フコトヲ  
致シテ居ラガイ次第デアリマス、ソコデ法  
人トノ釣合モ餘リ法人ヲ現狀ノ儘ニ放置致  
スノモ如何カト思ヒマス、或一定ノ限度迄  
ハ損金ト認メルケレドモ、一定限度ヲ超エ  
ル場合ニ於キマシテハ、稅モ納メテ寄附モ  
シテ戴キタイ、斯ウ云フヤウナ考方ニモ相  
成ヅテ居ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ議事ノ進行デ委  
員長ニ伺ヒタイト思フノデスガ、大藏大臣  
ニ對シテ質問ヲ致シタイト思ヒマスガ、大  
藏大臣ハ何時出席ニナルノデゴザイマセ  
ウカ

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 大藏大臣ハ昨  
日八十時半カラ融通ガツクト云フ話デアッ  
タノデスガ、今朝急ニ豫算委員ノ方ノ分科  
會デ以テ、何カチヨット決ヲ採ル前ニ問題ガ  
起ツテソレガ爲ニ……南方開發金庫ノ委員  
會ノ方ニ急ニ用ガ出來テ濟ンダラ早速來ラ  
レルトスウ云フ話デアリマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ大藏大臣ノ御出  
席ノ時ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、ソレ  
ニ付テハモット低率ニシテ、家族制度ノ擁護  
ニ付キマシテハ、相當稅率ハ引上ゲラレテ居  
ルノデアリマスケレドモ、此ノ考方ヲ寧ロ  
反對ナ考ニ持ツテ來テ、十萬圓程度ノ相續稅  
ト云フ理念ヲ此ノ上ニ相續稅法ノ上ニモ發  
揮サレタラドウデアラウカ、サウ云フ御考  
方ハ如何ナモノデアリマセウカ、伺ツテ置キ

シテ一定金額以下ノ相續財産アリマスレバ、家ノ維持ト申シマスルカ、或ハ家族制度ヲ維持致シマスル爲ニ必要デアルカラシテ、此ノ際増税ヲ差控ヘル、或ハ輕減ヲ圖ルト云フ者方ハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、所得税ニ於キマシテモ扶養家族控除ノ範圍ハ擴大致シマシタノデアリマスルガ、免稅點若シクハ基礎控除ノヤウナモノハ引下ゲマシテ、出來ルダケ廣く國民ニ租税ヲ負擔シテ戴クト云フヤウナ方針モ併セ用ヒテ居ル次第デアリマス、相續税ニ付キマシテハ免稅點ヲ下ゲルト云フコトモ考ヘマシタノデアリマスルガ、現在ノ免稅點ハ高カ過ギルト云フ譯デモゴザイマセヌカラシテ、免稅點ヲ引下ゲルト云フコトハ致シマセヌデシタ次第デアリマス、尙相續税ニ付キマシテハ下ノ方ノ税率ハ比較的の低イノデアリマスノデ、今回ハニ割程度増徴ヲスルト云フノデアリマシタノデ、相續財産ノ少イ者モ多イ者モ同ジ程度ノ引上ヲ行ッタ次第デアリマスガ、將來段々ニ相續財産ニ對スル課税ガ重クナルト云フヤウニ相成ニマスレバ、考慮ヲ要スル問題ダト思ツテ居リマス、尙相續税ヲ課シマスル際ニ、扶養家族ノ控除ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、其ノ扶養家族控除ノ範圍ヲ擴大致シマシタテノ優遇ヲ考慮致シマシタ次第デアリマス質問ヲ願ヒマス

ヲ致シタインデアリマスガ、實ハ問題が  
聯シテ居リマスカラ、一ツノ分ケルト云  
フト便利デモアリマスガ、併シ御答カラ云  
フト一括シテ御答ヘ願ツタ方ガ宜イヤウニ  
モ思ヒマスカラ、少シゴタヽ致シマスガ、  
ズット質問致シマス、此ノ時局ノコトデゴザイ  
マスカラ、租稅ノミナラズ、其ノ外國民ガ色  
色負擔ヲスルト云フコトハ、誠ニ我々愉快ニ  
考ヘテ居ル、アレダケ軍ハ骨ヲ折ッテ居ラレ  
ル、又政府ノ方デモ非常ニ努力ヲシテ居ラレ  
ル、我々ハ外ニヤリヤウモナイカラ、切メテ  
稅金デモ納メテ貢職ヲ致シタイト云フコト  
デ、其ノ點デ非常ニ愉快ニ存ジテ居ル、是  
ハ申ス迄モナイ誰モサウダラウト思フ、併  
シ財政的ニ考ヘテ來ルト、多少又考ヘテ見  
ル餘地モアルヤウニ思ヒマス、第一ニ財政  
ノ方カラ見マスト、財政ト云フ所カラ言ヘ  
バ詰リ公債ノ元利償還ガ出來レバソレデ宜  
イ、ソレ以上稅ヲ減ヤス必要ハナカラウト  
私ハ思フ、尤モ時期ニ依リマスルカラサウ  
キッカリサウシロト云フ譯デハアリマセヌ  
ガ、財政的ナ點カラ言ヘバソレダケガ結局  
必要ヲ課稅ダト思フ、「インフレ」防止ト云  
フ點カラ考ヘマシテモ是ハ稅ト云フコトハ  
一つノヤリ方デアリマスガ、何ニモ稅バカリ  
ガ「インフレ」防止デヤアリマセヌ、外ニ幾  
ラモヤリ方ガアラウト思フ、又ソレヂヤ社  
會的ニ之ヲ考ヘテ見マスト、隨分今日ノ負擔  
ガ色々ナ點カラ、財政バカリヂヤナク物資  
ノ配給、其ノ他勞力ノ徵收等色々ナ負擔ガ  
アル所ヘ持ツテ行ッテ、是カラ後此ノ戰爭ハ  
何時熄ムカ分ラヌ、隨分國民トシテハ負擔  
ヲシナケレバナラヌカラ、出來ルコトナラ  
バ成ルベク負擔ヲ少クシテヤル、少シデモ  
愉快ニシテ行ケバ山々登ルノモ樂ダ、此ノ

間モチヨット申シマシタガ、山ヲ登ル快ニ、荷物ヲ輕クシテ唄デモ歌ツテ行クト登レルガ、重イ荷物ヲ背負ハシテヒイヽ苦メテ行ケバ、ドンナ登山家デモ參ッテシマフノデアリマスカラ、出來ルコトナラバ外ノ條件ハ別ニシテ荷物ハ輕イ方ガ宜イ、又人口問題ト云フ點カラ考ヘテモ、斯ウ稅ガ重クテハ私ハ中產階級ニ對シテ人口增加ヲ望ムコトハ無理ト思フノデアリマス、是ハ長ク説明セヌデモ分リマスガ、是ハ工合ガ惡カッタラ速記カラ削ッテモ宜シウゴザイマスガ、恐ラク避妊ガ殖エヨウト思ヒマス、斯ウ云フコトヲスルト……又中產階級以上ノモノガ消滅スルト云フコトハ甚ダ面白クナイコトデ、社會上カラ云ツテモ避ケナケレバナラナイコトハ申ス迄モナイ、サウシテ一方今後ノ形勢ヲ見マスト、昨日モ質問ヲ致シマシタノデアリマスガ、南洋ニ於ケル敵産ト云フモノハ可ナリアルラシイ、南洋ニハ事業モ大キクアルラシイ、是等ヲ經營スルニハ非常ニ一時金ハ要ルコトハ要リマスケレドモ、結局儲ツテ來ル、尤モ支那ト云フモノモゴザイマスカラ一概ニ申セマセヌガ、何シロ茲ハ少シ將來ノ様子ヲ見テ、サウシテドウ云フ風ニナルカ、人ニ依ツテハ五千億ノ公債ヲ背負ッテモ宜イト云フコト迄言ツテ居ル人ガアリマス、サウシテ見ルト粗税ハ少シ加減シテ、一遍上ゲタ稅ハナカヽ下ゲラレナイカラ、一遍上ゲテモ下ゲレバ宜イデヤナイカト云フヤウニ考ヘラレル、一々項目ヲ分ケテヤツテ行クト宜イノデアリマスガ、例ガナイ、サウ云フ所カラ少シ手嚴シクハナイカト云フヤウニ考ヘラレル、一々項目ヲ分ケテヤツテ行クト宜イノデアリマスガ、御答ハキツ闘聯シテ來ルト思ヒマスカラ、

○國務大臣（賀屋興宣君）　租稅ノ限度ト云  
フカ、程度ト申シマスカ、サウ云フコトニ  
モナル御質問ト思ヒマスガ、只今ノ所デハ  
ドウモ外ノ交戦國ノ程度ニ迄ハ増稅ガ參ッ  
テ居リマセヌノデアリマス、ト云フノハ負  
擔ノ加重ノ程度カラ申シマシテ、又國費ノ  
中ニ占ムル稅ノ割合カラ申シマシテ、日本  
ハ寧ロ其處迄參ッテ居ナイ、只今ノ所デハ是  
ガ戰後ニ國債ノ償還ガ出來ルカ出來ヌカト  
云フ、其ノ邊カラノ數字ノ睨ミ合迄ニハマ  
ダ到底參リマセヌ、今回ノ增稅ニ於キマシ  
テモ、平年度十一億、間接稅ノ昨年ノ秋御  
協贊ヲ經マシタノヲ入レマスト十八億程  
度デアツテ、鐵道運貨ノ引上、通信料金ノ引  
上、内外地ノ煙草ノ値上、皆集メマシテ二  
十數億ト云フコトデ、非常ナ增稅ノヤウデ  
アリマスガ、併シ之ヲ國費カラ見マスト  
國費ノ一割ニモ當リマセヌデ、私ハ今ノ處  
此ノ程度デ宜シイト考ヘル程ノ稅ハナカヽ  
寧ロ取レナイ、衆議院デモ、歲計ノ何割  
ヲ稅デ取ルカト云フ話ガアリマシタガ、ソ  
レハ分リマセヌ、何割取ッタラ財政ガ安心デ  
アルト云フヤウナコトハ、實ハ今考ヘタッテ是  
ハ分ラナイコトデアリマス、サウカト言ツテ何  
デモ公債デ宜イト云フ譯ニハ參リマセヌガ、  
アルト云フヤウナコトハ、實ハ今考ヘタッテ是  
ト申シマシテモ經濟力ガ基礎デアリマスカラ、  
經濟力ノ基礎タル所謂生產力擴充、是ハ一段  
掘リ下ゲテ申シマスレバ、國民生活ト戰爭  
遂行ニ必要ナル各種ノ生產、運輸力斯ウ云  
フコトニナルト思ヒマスガ、ソレヲ阻害セ  
ズ、ソレカラ又國民ノ生活ヲ著シク脅威セ  
ズ、是ハ戰爭ニ勝チマス爲ニハ國民ガ健康

是ハ絕對ニ必要デアリマスカラ、此ノ意味ニ於ケル國民生活ト云フモノヲ維持シテ行ク、ソレカラ資金ノ蓄積、是ガ生産力擴充ト相應ジテ戰時經濟ノ維持ニ絕對ニ必要デアリマスガ、之ヲ阻害セズ、大體此ノ三ツノ觀點ヲ制限ニ置イテ、出來ルダケ多額ヲ取ルノデアル、斯ウ云フ考へ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、購買力ノ吸收ヤ抑制ニ付キマシテハ、御話ノ如ク今ノ經濟上ノ諸政策ハ單ニソレデ宜シイト云フモノハ勿論アリマセヌ、皆有ラユルモノガ相關的デアリマシテ、是ハ平時デモ相關的デアリマスガ、是ハ著シクソレガ明瞭ニ切迫シテ今表ハレテ居ル次第デアリマス、所謂「インフレ」防止ニハ、通貨面デハ第一ニ國民貯蓄ノ増強、第二ニ租稅、是ハ金額デ申シマシテモ租稅ノ方ガ國民貯蓄ノ增加ノ常ニ三分ノ一トカ四割トカ云フ數字ニナッテ居リマス、通貨ノ吸收面ハ第一ハ國民貯蓄、第二ガ租稅、一方物資方面ニ於キマシテ各種ノ消費ノ規正、一般的節約、配給ノ整備、尙所謂物動計畫、是等ノ綜合的結果デアリマシテ、尙英米トノ經濟關係ガ通常デアリマスル場合ニハ之ヲ基準トシタ外國爲替相場ノ維持ト云フコトモアリマスガ、今其ノ點ハ變ツタ譯デアリマス、ソレデ獨リ稅ニノミセヌ、多種多様ナモノヲソレバノ用途デ置クト云フノデハアリマセヌガ、併シ稅ト考ヘナケレバナラヌノデアリマス、購買力吸收ト云フ點ニ付テモ稅ヲ閑却スル譯ニハ參ラスト思ヒマス、大體今申上ゲマシタヤウナ三點ヲ阻害セザル範圍ニ於テ、出來ル

ス、其ノ結果今年度ノ如キハ税ノ實質ヲ備  
ヘテ居ルモノガ豫算總額ノ三割、決算ハ三  
割以上ニ殖エテ居リマス、中ニハ是非四割  
迄行ケト云フヤウナ御話モアリマシタガ、  
私モ漫然タル希望ヲ申上ゲルノデアリマス  
ガ、四割位迄行キタインデアリマスガ、  
ナカヽサウ云フヤウニ參リマセヌヤウナ  
狀態デアリマス、尙今年ノ税ニ於キマシテ  
ハ、大體今申上ダマシタ生產力擴充、國民  
貯蓄ノ増強及ビ國民生活ト云フ觀點ニモ入  
リマスガ、著シイコトハ所謂產業ノ再編  
成、中小商工業其ノ他ノ企業ノ整備、之ニ  
關シマシテ其ノ丁度途ニ當リマス人ハ一時  
非常ニ收入ノ減其ノ他ノコトガアリマスノ  
デ、是等ノ税負擔ヲ相當ニ輕減ヲ致シマシ  
テ、其ノ苦痛ヲ緩和シ、同時ニ其ノ事柄ヲ  
促進スル、是ガツノモノトシテ表ハレテ  
居リマス、國民生活ニ付キマシテハ、無論  
ソレデハ不十分デアリマセウガ、兎ニ角今  
迄家族控除ノ制度ガアリマシタモノヲ大體  
二倍以上ニ致シマシテ、一人ニ付一圓ト云  
フ控除ヲ一圓ニシ、子弟が五人以上アリマ  
ス場合ニハ全部ニ瓦ツテ一人ニ付三圓ニス  
ル、是ハ或ハ政府委員カラ申上ゲルカモ知  
レマセヌガ、其ノ點デハ一億八千萬圓ニモ  
相成ルヤウナ工合デ、相當今迄ノ税トシマ  
シテハ思ヒ切ツタヤリ方デアリマス、折角稅  
ガ取レル範圍ニ、稅務署デ色々調べタモノ  
ヲ皆減稅ヲスル、例ヘバ五十圓迄ガ分類所  
得稅ノ基礎控除ト思ハレマスガ、妻ト子供  
一人ノ人ハ九十圓デモ實際納メナイ、段々  
リマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ相當ニ

シテ其ノ限度ハドノ位詰リマシタカ、計數  
モ分類所得稅モカケラレマスガ、一番高イ  
ベク節約スペキ時ニ押問答ハ避ケマス、尙  
上ニ瓦リマスカラ其ノ前ニ政府委員ニ伺ヒ  
タイノデスガ、個人ノ所得稅デ綜合所得稅  
ハ意見ノ相違ニナリマスカラ、時間ヲ成ル  
ノ官公吏ト同ジ程度ハ會社經理統制令ニ於  
テ之ヲ認メルト云フコトニ致シ、出來ルダ  
ケ健全ナル人口ノ増加ト云フコトニハ留意  
ヲシテ行キタイト思フノデアリマス、今申  
上ゲタ程度デアリマシテ、稅ノ方モ今年  
デモ結局増シマスダケナラバ約十三億ニナ  
リマスモノヲ、十一億五千萬圓ニ止メタト  
云フヤウナ次第デアリマス、將來モモウ必  
ズ此ノ程度デ止メテ增稅シナイカト云フコ  
トニナリマスト、マダ相當國民ニハオ氣ノ  
毒デアリマスガ增稅ト云フ機會モ來ヨウカ  
ト思ツテ居ル次第デアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 今詳シイ表ハ持ツテ居リマセヌガ、一例ヲ申上ゲテ御参考ニ供シタイト存ジマス、勤勞所得ダケト假定致シマシテ、所得百萬圓ノ人デ獨身者デアリマスルト云フト、現在ハ六十萬三千圓餘リノ租稅負擔ニ相成ルノデアリマシテ、相當ノ改正後ニ於キマシテハ七十四萬圓程ノ負擔ニナリマスノデ、所得百圓當リ七十四圓ト云フ負擔ニ相成ルノデアリマス、相當ノ負擔デアルト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 一番高イ人ハ七百萬圓位ト伺ツテ居リマス

○政府委員(松隈秀雄君) 本年ノ綜合所得稅ノ結果デハ最高所得者ハ七百萬圓程度デアルト思ツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ最高所得者ノ七百萬圓ハ稅ハドノ位引カレル……所得稅ハドノ位掛リマスカ、不動產所得ト見テモ宜シ、何ト見テモ宜シウゴザイマスガ……

○政府委員(松隈秀雄君) 只今七百萬圓ノ計算表ヲ持ツテ居リマセヌカラ、調べマシテカラ早速……

○子爵大河内輝耕君 其ノ調べハ後デ宜シウゴザイマス、尙今ノ問題ト同ジ問題ヲ私外ノ方面カラ伺ツテ見タイ

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 大河内委員ニチッヨト御諸リ致シマスガ、大臣ニチヨット質問シタイト云フ方ガアリマスガ……

○子爵大河内輝耕君 私モ大臣ニ伺フノデスガ……

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレナラドウゾ

○子爵大河内輝耕君 南洋ガ今度手ニ入

ル、南洋ト云ツテモ所ニ依リマスカラ、一概ニ南洋ト云ツテモ何デスガ、ソレハ相當前提ニシテ宜カラウト思ヒマス、サウ云フヤウナコトニナレバアチラノ敵産モ大分取レルト云フヤウナ關係モアリ、殊ニ富貴ナ處デアリマスカラ、金ヲ注込マナケレバナラスコトニナリマセウガ、結局財政上日本ノ餘裕ハ生ジテ來ヨウト思ヒマス、ソレカラ一方ニ於テ支那ノ方ハ是ハドウモ財政カラ云フト可ナリ苦シイモノデナイカト思フ、彼此綜合致シマシテドンナ風ニ大體御覽デゴザイマセウカ、大藏大臣ニ大體ノ御意見

テ、非常ニ懇切且明快デ、大體ニ於テ感謝致シテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ法人ノ寄附ノ問題ニ付テハ、斯ウ云フ風ニ御決ニナルト、公共事業ニ對スル寄附ト云フモノガ可ナリ少クナルト云フコトガ豫想サレルノデアリマス、勿論之ニ付テハ命令案ガアリマシテ、相當過去ノコトモ御考ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、只今大藏大臣ノ御話ノ如クニ、税法ヲ決ルニ付テハ、國民ノ健康ト力、或ハ國民ガ能ク働クトカ、民心ガ安定スルトカ云フ方面モ十分御考ニナッテ御ヤリニナルト云フコトデアリマスルカラ、ソレハ非常ニ安心デアリマス、從ヒマシテ大哉ニ至、即希望ニシテ、吾ノノカト方ニ

ニ相當ノ國費モ出シテ居リマスガ、政府が附シテ、サウシテ矢張リ所謂民心ノ安定、國民生活ノ安定ト云フコトヲ今日迄圖ツ出シテ居ル以外ニ、民間人ガソレ／＼金ラ索居ルノデアリマス、ソレガ所謂今日ノ公其事業デアル、サウ云フコトニ付テハ大イニ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、從ヒマシテ私ハ厚生省ナリ、内務省ナリ、文部省ナリ、サウ云フ方ヲ司會シテ居ル方面トハ十分ノ聯絡ヲ取ッテ戴キタイト云フコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス、併シ此ノ法律案ガ大體ニ於テ此ノ通りリ過スルニ違ヒナイシ、又我々モ之ニ付テ恩字モナシズワダアリマスレガ、汝等ニ於テ、全

リマスケレドモ、併シナガラ一面ニ於テソ  
レガ爲ニ只今申上ゲタヤウナ大沢ナコト  
ガ疎カニナルト云フコトハ面白クナイ、申  
上ゲル迄モナク民間ニモ相當大キナ援助團  
體モアリマスルシ、公共事業ヲヤツテ居ルモ  
ノモアリマスルガ、是ガ利息ハ下リ、ソレ  
カラ經費ハ多クナルト云フヤウナコトデ非  
常ニ困ツテ居ルノデアリマス、而シテ政府ノ  
補助モ必ズシモ多クナイ、ドッヂカト云フト  
減ラサレルヤウナ傾向ガアルカラ非常ニ困ツ  
テ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマ  
シテ私ハ此ノ臨時措置法中改正法律ヲ實施  
スルニ付テ、徵稅ノ當局者トシテハ私ハ是  
デ宜シトイト思フノデアリマスガ、大藏大臣

[View all posts by admin](#) | [View all posts in category](#)

○國務大臣(賀屋寅宣君) チミット速記テ  
御止メ願ヒタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ際御願ヒシテ置  
キマスガ、私ノ申シタコトモ委員長ニ於テ  
速記ヲ取除イタ方ガ宜イト御考ヘナレバ、  
ドウゾ御遠慮ナク御取除ケヲ願ヒマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記中止……  
(速記中止)

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ始メ  
テ……

○關屋貞三郎君 大藏大臣モ外ノ委員諸君  
モ十分ヤ十五分ハ宜シウゴザイマスカ、私  
ノハ極ク簡単デゴザイマスガ、畫ニナリマ  
シタガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 宜シウゴザイ  
マズ

○關屋貞三郎君 私ノ大藏大臣ニ御質問致  
シタイ點ハ、臨時租稅措置法ノ法人ヲ寄附  
ノ問題デゴザイマスガ、是ハ寧ロ質問ト云  
フヨリモ、質問的希望ト云フ方ガ宜イカ、  
モ知レマセヌ、只今迄此ノ全體ニ付テノ大  
藏大臣初メ政府委員等ノ御説明ヲ伺ヒマシ

大蔵大臣ハ御者皇ニナシテ居ルヤハナ方ニ  
進ンデ居ル、此ノ公共事業ト云フモノハ、  
何トカシテ之ヲ助成スルト云フノガ矢張リ  
大キナ意味ニ於ケル政府ノ方針デナケレバ  
ナラヌト思フノデアリマス、勿論今回ノ増  
稅ハ、全部之ヲ臨時軍事費ニ充テルト云フ  
ノデゴザイマシテ、此ノ大戰爭ヲヤッテ居ル  
際デアリマスカラ、我々共ハ如何ナル負擔  
ニモ堪ヘベキデアツテ、大體ニ於テ之ニ異存  
ノアル筈ハナノデゴザイマスガ、若シモ  
此ノ臨時租稅措置法ノ結果、公共事業ニ對  
スル寄附ガ非常ニ減ルト云フヤウナコトニ  
ナルト、只今大藏大臣ノ御話ニナツタヤウ  
ナ目的ニ反スルヤウナコトニナルノデヤナ  
イカ、人口政策ノ方面カラ言ツテモサウデ  
アリマスルシ、或ハ學術ノ獎勵、學術ノ獎勵  
ノ中ニハ勿論平和的ノ事業モアリマスケレ  
ドモ、兵器ノ進歩……所謂國防ニ關係ノアル  
モノガ非常ニ多イノデアリマス、又無論今  
日ハ總力戰デアルカラシテ、銃後ノ民心ノ  
安定ト云フコトヲ主眼ニシナケレバナラヌ  
ノデアリマス、勿論政府ニ於テハソレガ爲

ト云フコトハドウカ知レマセヌケレドモ、口令案ト云フコトヲ御作リニナツテ居ルノアリマスカラ此ノ範圍ニ於テ十分ニ……十八  
今私ガ申上ゲタヤウナコトヲ適當ニ按排スルコトガ出來ルデアラウト思フノデアリマス、急ギマスカラ一々細カイコトハ申シセヌガ、例ヘベ命令案ノ如ク所得金額ハ五百分ノ二十五ト云フ程度、或ハ資本額ノ千八百二乃至三ト云フ程度ガ絕對ニ動カセヌアルカ、多少是ハ動カシテモ宜イカズウカト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、ソレカラ殊ニ此ノ寄附金審査委員會ノ諮問ヲ經テ決定スルト云フコトハ大變結構ナトデアリマスガ、此ノ中ニハ唯徵稅第一ニ義ダケデハナシニ、矢張リ只今御話ノヤマ全般ニ對シテノ考ヲ持ツテ居ルヤウナニヨ官民トモ御入レニナルト云フヤウナコニ致シマシテ、サウシテ最モ適切ニヤツシ行ク、勿論今日ハ幾ラ金ガ有ツテモ足ラヤウナ世ノ中デアリマスカラ、増徵ノ目指ヲ阻害スルヤウナコトハ宜シクナイノデア

トシテハ、又進ンデハ内閣トシテハ全體ヲ  
考ヘテ此ノ運用ヲ適切ニスルト云フコトガ  
非常ニ必要デハナイカ、ソコデ此ノ命令案  
ノ作成ニ付テハ十分ニ考慮シテ戴キ、又此  
ノ寄附金ノ審査委員會ノ機構及運營ニ付テ  
ハ十分ノ考慮ヲ願ヒ、更ニ進ンデ私ハ仕方  
ガナイカラ國庫補助ヲ多クシタラ宜イダ  
ラウト思フノデス、必要ノ場合ニハ……例  
ヘバ千萬圓ノ寄附金ヲ募集スルト云ヒマシ  
テモ、今ノ利息デハ一年ニ三十萬圓カ三十二  
五萬圓シカ使ヘナイト云フコトデアリマス  
カラ、若シモ政府デ三十萬圓ナリ、五十萬  
圓ナリヲ或事業ニ補助スルト云フコトニナ  
レバ、民間デ千萬圓ヲ募集スルト同ジコト  
ニナルノデ、ソレハ一ツ政府ノ方ニ於テモ  
衆議院ニ於テ第一義、第二義ト云フモノガ  
アツテ、第一義ノモノハ勿論政府デヤル、第  
二義以下ノモノハヤラナイノダ、是ハ民間  
デヤルノダ、此ノ方ニ於テハドウシテモア

For more information about the study, please contact Dr. John P. Morrissey at (212) 639-7300 or via email at [jmorrissey@nyp.edu](mailto:jmorrissey@nyp.edu).

ガ、此ノ第一義ト仰セラレマシテモ、殆ド  
政府ノ第一義ニ匹敵スルト云フヤウナモノ  
ガアリマシテ、政府デヤレバ割合ニ金ガ掛  
ル、處ガ民間デアレバ割合ニ金ガ掛ラズニ  
第一義的ノコトニ殆ド順應シテ行ク、勿論  
社會事業トカ公共事業トカ、色々ナモノモ  
隨分難駭ニアリマスカラ、ソレハ十分ニ取  
捨選定ヲシナケレバナラヌノデアリマシテ、  
是ハ所謂寄附金審査委員會デ十分ニ御骨折  
ヲ願ヒタインデアリマス、不急ナルコトハ  
仕方がナシ、善イ事デアッテモ私ハ此ノ際ハ  
御獎勵ニナル必要ハナイト思フノデアリマ  
ス、併シナガラ必要ナモノハ大イニヤツテ戴  
カスト國ルノデナイカ、例ヘバ「ドイツ」ノ  
例ナドヲ見マシテモ、此ノ前モ學術獎勵ノ  
問題ノ時ニ、私ハ議會デ質問シタ時分ニ、  
「ドイツ」ガ第一次ノ歐洲大戰デ非常ニ困ツ  
テ、モウアノ通り財政的ニ慘澹タル有様デ  
アツタニモ拘ラズ、アノ「カイザーウィルヘルム」協會ト云フカ、ソレニハ一千萬「マル  
ク」ト云アモノヲ終始出シテ居ルノデアリ  
マス、ソレガ今日ノ「ドイツ」ガ非常ニ強イ  
所以デヤナイカ、處ガ金ガ足ラナイト云フ  
ノデ、サウ云フ大切ナモノ避閑却スルト云  
フコトニナルト、本當ノ國策ト云フモノハ  
立タナクナル、唯チヨット金ガ要ルト云フヤ  
ウナコトダケラ考ヘズニ、其ノ方ニ出ス、  
サウシテ本當ニ國策ニ副サテ國家ノ將來ニ  
非常ニ必要ナ問題ハ、矢張リ大イニ政府デ  
以テ之ヲ御保護ニナリ、或ヘ之ヲ培養スル  
ト云フコトデナイト、非常ナコトニナルノ  
デナイカト思フノデアリマス、ソコデ要ス  
ルニ此ノ三點デアリマス、第一ハ此處ニ御  
示ニナツタ各稅ノ命令案ノ、法案ノ第一條ノ

第十六ト云フノガアリマスルガ、ソレニ付  
テノ法人ノ寄附金ニ付テ多少緩和ヲスルコ  
トハ出來ナイカドウカ、是ハ勿論増税目的  
ニ非常ニ違ツダハ困リマスケレドモ、増税自  
的ニ違ハヌ以上ハ、是ハ若シモ此ノ審査委  
員會デ決定スレバ免ズルト云フノデスケレ  
ドモ、私等ハ免ジナクテモ、減ジテモ宜イ  
ト思フノデス、法律案ハ免除トナッテ居リマ  
スカラ、今更減免ト云フコトヲ言フ必要ハナ  
イト思ヒマスガ、少タトモ率ハ御考ヘニナ  
ルコトハ出來ルノデナイカト云フコトト、  
ソレカラ此ノ審査委員會ノ機構及運營ニ付  
テ十分御心配ヲ願フコトト、最後ハ直接ニ  
此ノ増税案ニハ關係ハアリマセヌケレド  
モ、必要ガアレバ、必要ナルモノニ對シテハ  
國庫補助ヲ惜マナイト云フコトニスレバ、  
此ノ大藏大臣ノ御心配ノヤウチ點ガ非常ニ  
除カレルノデナイカ、サウシテ本當ノ長期  
ノ戰爭ニ堪ヘ、所謂大東亞戰爭ト云フモノ  
ノ目的ヲ完遂スルコトが出來ルノデナイを  
斯ウ思フノデアリマス、其ノ三點ニ付テ大  
體ノ御考ヲ伺ツテ置キタイ

ノガ今ノ時期ニ於テ、必ズシモ必要デアリ  
ルカドウカト云フ點ニ於テモ問題ガアリ  
マセウシ、大體必要デアルト云フコトニ  
ハ私ハ問題ハ少イ思フノデアリマス  
ガ、所謂力ノ入レ方、金トカ物ノ注込ミ方  
ノ程度ノ判定ガ、其ノ道ニ熱心ナル餘リ、  
全體カラ見マシテ、今ノ所デハ、少シ其  
ノ方面ハ辛抱シテ、戰費ナラ戰費ニ充テル  
必要ガアル、斯ウ云フ考方ノ餘地モ相當ニ  
存スルノデハナイカト思ハレル點ガ一面ニ  
アリマスノデアリマス、又是ハ必ズシモ正  
確ニ論ズル譯ニハ參リマセヌガ、民間ノ事  
業ニ於キマシテ、其ノ目的ハ極メテ結構デ  
アリマスルガ、經營ノ方法其ノ他ニ於キ  
マシテ、所謂能率ノ點ガ、多額ノ金ヲ使ヒ  
マスル割合ニハ、能率ガ上ツテ居ルモノト、  
上ツテ居ラヌモノガアルカト思フノデアリ  
マス、目的及力瘤ヲ入レル程度、能率ノ上  
リ方ト云フコトニ付キマシテハ、民間ノ事  
業ニ付キマシテ必ズシモ目的ガ美名デアル  
カラ、何處迄モ寄附金ナドモ認メテ宜イカ  
ト云フコトニハ、相當考ヘル餘地ガ一面ニ  
アルト思フノデアリマス、又一面戰費ノ急  
ヲ要シマスル場合デアリマシテ、多額ノ戰  
費ニ應ズル爲増稅モ致スヤウナ次第デアリ  
マス、サウナリマスト、超過利得ナドニ掛  
ケマスル稅ナドト云フモノハ、相當高イノ  
デアリマス、巷間傳ウル所ニ依レバ、是モ  
所謂巻ノ話デアリマシテ信用出來マセヌガ、  
ガ減ヅテ利益ガ出テモ、是ハ半分ハ稅金デア  
ル、半分ハ宴會ヲシテ居ルヤウナモノダト  
ケマスル稅ナドト云フモノハ、相當高イノ  
云フヤウナコトデ、會社ナドガ宴會モ隨分  
雲ズアルト云フヤウナコトヲ聞キマス、又

寄附金ニ致シマシテモ、税ガ免除シテ貴ヘ  
ルナラバ、百萬圓寄附スルト云フガ、實ハ  
懷勘定ハ五十萬圓デアルトカ、六十萬圓<sup>ニ</sup>  
アルトカト云フ、斯ウ云フ話モ相當聞キマ  
ス場合モアルノデアリマス、一々左様ナ話  
ヲ眞實トシテ之ヲ取上ゲル譯ノモノデモア  
リマセヌガ、サウ云フコトモアルノデハナイカ、  
マシテ、美名ナラバ、全部税ヲ負ケテ損金  
カラ寄附金ヲ認メルト云フコトニハ、私ハ  
相當ニ是ハ考ヘル餘地ガアルノデハナイカ、  
殊ニ今回ノ如ク、大東亞戰爭ニナリマシテ、  
非常ニ税率ガ上リマシタガ、ソレハ戰費ニ  
充テル目的デ上ダタ税デアリマス、從ヒマ  
シテドウモ從來行政官廳ノ官吏ノ判定ダケ  
デ是ハ税ヲ負ケテ宜イモノデアルトカ、取  
ルトカト云フコトヲ致スコトハ、モウ少シ  
ハツキリシタ方法デ行ク方ガ宜シイノデヤ  
ナイカ、殊ニ戰費財源タル増税ト云フモノ  
ニ對シテ、ソレガ外ニ實質上抜ケテ行クト  
云フコトモ面白クナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘ  
マシタ次第デアリマス、併シナガラ一面ニ  
於キマシテ、公益的ノ民間ノ活動ト云フコ  
トモ亦大切デアリマスカラ、其處ガ程度、  
ヤリ方ノ問題デアラウト思フノデアリマス、  
大體ハ只今腹案ニ持ツテ居リマスル、政府ガ  
特ニ委員會ニ掛ケマセヌデ、經費トシテ損  
失トシテ認メル程度ノ寄附ト云フモノハ、  
從來ノ會社ノ實績等モ斟酌致シマシタノデ、  
是ハ餘リ緩ヌルコトハ、今申上ダタヤウナ、  
モウ少シ顧慮スル點モアリマスカラ、是ハ  
私ハ只今ノ考デハ困難ト思フノデアリマス、  
併シナガラ委員會ヲ設ケマスルト云フコト  
ヲ考ヘマシタノハ、然ラバ全部税ヲ免除シ  
ナイデ置ク、全部一定ノ率以上ノモノハ損  
失ト認メテヤルカト云フト、ソレハ必ズシ

モ適當デナイ、仰セノ如ク、相當ニ事業ノ維持發達ヲ考ヘナケレバナラヌモノガアル  
ノデアリマシテ、是等ニ對スルモノガ、單ニ稅務ヲヤツテ居リマスル官吏ノ判定ニ俟  
タズシテ、仰セノ如ク廣ク各方面ノ官吏、  
例ヘバ厚生省ノ官吏デアリマストカ、其ノ  
他サウ云フ事業ノ本來ノ使命ニ付テ理解ガ  
深イ者ヲ入レマシテ、各方面ノ者ヲ當ラセ  
マシテ、事業ノ緊要性、效率等ヲ判定シテ、  
是ハ稅ヲ免除シテモ寄附ヲ認メテ宜シト  
云フ判断ヲ、必要ノ他ノ角度カラ見ルヤウ  
ニ致シタイト云フノガ一ツノ委員會ヲ設ケ  
マシタ趣旨デアリマス、此ノ點ハ御趣旨  
ノ如ク運ビタイト存ジテ居ルノデアリマス、  
第三、國庫補助ノ點デアリマスガ、是ハ單  
ニ資金ノ配分ト云フコトカラ申シマスト全  
部免稅ナドヲ中止シマシテ、稅ノ取ルモノハ  
取ツテ國庫カラ補助スルト云フコトガ或ハ效  
率的ガ簡明カトモ考ヘル體デアルノデアリマ  
ス、従ヒマシテ此ノ點ニ付キマシテハ考慮  
致シタイト思ヒマス、唯、今大體增稅ノ目的ガ  
全部臨時軍事費ニ繰入レルト云フヤウナコト  
ニモナツテ居リマスルシ、ソレカラ今此ノ審査  
カラ、國庫補助トシテ出シマス、ソコニ資  
源ト云フモノハ此ノ制度ノ改正ニ依ツテハ  
實績ヲ餘リ辛ク認メテ居リマセヌモノデス  
先ヅハ餘り無イ譯デヨザイマスノデ、或ハ  
御心持ノ如ク是方ドシヽ國庫補助ガ出ル  
ト云フ程度ニ參ラヌカト思ヒマスガ、今ノ  
如ク實際ニ於テ結果カラ見マシテ、寄附金  
ノ割合ニ減ヅテ、稅收入ガ増加スルト云フヨ  
トガ起リマスレバ非常ニ緊要ナ事業ニ付キ  
マシテハ補助金ニ於テ又考慮致シテモ宜シ  
ミカト存ジテ居リマス

○關屋貞三郎君 満足致シマシタ、私モ決シテ社會事業ト力……社會事業ト云フ字ヲ避ケタノデスガ、公共事業ト申シタノデスガ、サウ云フ美名デアレバ唯矢鱈ニ稅ヲ減免スルトカ、補助ヲ多クスルト云フ意味ハ毛頭ナイノデアリマス、非常ニ社會事業モ色々澤山アリマスカラ其ノ中ニ必ズシモ……少クトモ現在ヘ、不 斷ナラバ兎モ角、時局下一般ノ大切ノ場合ニソイツヲ非常ニ加重スルカドウカト云フ問題ハ幾フモアル、サウ云フコトニ付テハ決シテ私ハ贊成スル譯ヂヤナイ、略、大藏大臣ト同ジヤウナ御意見ダラウト思フノデアリマス、思フノデゴザイマスガ、唯御話ノヤウナ國民ハ健康デアツチ、サウシテ頭モ良クサウシテ喜ンデ勵カセル、勿論色々難ハ忍ブニ致シマシテモ第一ニ身體ガ丈夫デ、立派ナ人間ガ出來ナケレバ困ルノデスカラ、サウシテ又學術ノ研究ト云フモノハ是ハモウ總力戦、今日デハ非常ニ必要ナ問題デアリマスカラ、サウ云フモノガナクナッテシマッタナラバ、サウ云フモノガナクナッテシマッタナラ山民間ノ補助ニ依ツテ出來タモノガ隨分アル、サウ云フモノガナクナッテシマッタナラバ、大變政府ハ困リヤシナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ憂ヒマシテ、只今質問ヲ致シタノ方ノ側カラカリデハチヨット工合ガ惡イデアリマスカラ、其ノ趣旨ガ徹底スレバ宣シイノデアリマシテ、是ハモウ政府委員デモ結構ダッタノデアリマスケレドモ、徵稅ノ私ハ租稅ノ法案ノ御説明トシテハソレデ頗ル満足シテ居リマス、ソレデ殊ニ大藏大臣ノオイデゴザイマス、又租稅ノ法案トシテハモニテ質問致シタ譯ヂゴザイマスカラ、其ノ趣旨ノ徹底スルキウニ一つ御慮慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 松村君  
○松村義一君 大藏大臣ノ御都合ハドウデ  
ゴザイマスカ、私モ大藏大臣ニチヨツト御質  
問申上ゲタイコトガアリマス、ソレハ豫算  
ガ、何カ評判ニ依リマスト、今日總會ヲ済マシ  
テ明日本會議ニ上程サレルヤウニモ承ツテ  
居リマスガ、其ノ豫算ガ本會議ニ上程サル  
ル前ニ兎ニ角御尋ヲシタイト斯ウ思フノデ  
アリマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) チヨツト申上  
ゲマス、今日二時カラナラ御都合ガツクヤウ  
ウデゴザイマスカラ、今日二時カラ此ノ委  
員會ヲ開タ云フコトニ御異存ゴザイマセ  
ヌケレバ、サウ致シタイト考ヘマス

○子爵大河内輝耕君 チヨツト速記ヲ止メ  
テ戴キマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ止メ  
テ……  
(速記中止)

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ始メ  
テ……ソレデハ此ノ程度テ休憩致シマス、  
午後ハ二時カラ開會致シマス

午後零時三十三分休憩

午後二時四十二分開會

○副委員長(男爵松岡均平君) 午前ニ引續  
イテ開會致シマス

○松村義一君 大藏大臣ニ御伺ヒ申上ダタ  
イト思フノデゴザイマス、私ハ思フ所ヲ申  
上ガマシテ、大臣カラツク御教ヲ願ヒタイ  
ト、斯ウ思フノデアリマス、斯ウ云フ時局  
ニ際シマシテ、非常ナ多額ノ増稅ヲ爲サル  
ト云フヨトハ、一面ニ於テ已ムヲ得ザルモ

ノガアル、斯様ニ思フノデアリマスガ、一  
方ニ於テ公債モ非常ニ植エル、増稅モスル、  
サウシテ此ノ稅金ニ付キマシテハ、從來モ  
相當重イ稅デ、今度ハ又ソレガ一層重クナ  
ル、先程大藏大臣ノ御話ニ依リマスレバ、  
更ニ增稅スルコトガ必要デアルト云フ御話  
ニアリマス、左様デアラウト思ヒマスガ、  
サウ云フ御話デアッタ、ソレモ今回ノ戰爭ニ  
勝抜ク爲ニ眞ニ必要已ムヲ得ザルモノニア  
リマスナラバ、國民ハ甘ンジテ是等ノ負擔ヲ  
受ケルト思フノデアリマス、從テ政府ニ於  
キマシテハ、其ノ財政ニ對シテ非常ニ能ク  
御注意ヲ願ハナケレバナラヌ、サウ致シマ  
スナラバ、公債ノ募集ニ應ズル者モ喜ンデ  
之ニ應ズル、稅金ノ重イ負擔ニ應ズル者モ  
喜ンデ稅ヲ納メル、斯ウナルノデゴザイマ  
スルガ、政府ノ歲出ノ方面ニ於テ、必ズシ  
モ緊急デナイモノガ載セテアッタ、斯ウ云フ  
コトデアリマスト云フト、公債ニ應ジ、稅  
金ヲ納メル者ガ心持良ク之ニ應ズルコトハ  
ムヅカシカラウ、斯様ニ思フノデアリマス、  
從ツテ私ハ稅ニ關係致シマシテ、歲出豫算ニ  
付テ御尋ラ致シタイノデアリマス、豫算ノ  
説明ニ於テ今回ハ此ノ重大ナ時局ヲ乘切ル  
爲ニ戰爭遂行上眞ニ已ムヲ得ザルモソダ豫  
算ニ計上シテ居ル、斯ウ云フヤウナ御話デ  
アリマス、又一方ニ於テ其ノ他ノ點ニ付キ  
マシテモ、緊急已ムヲ得ザルモノヲ計上シ  
タト云フ御話デアリマシタ、處ガ實際ハ必  
ノ政府委員カラ頂戴シタ表デゴザイマス  
ガ、是ハ一般會計ノ本豫算ト追加豫算ヲ合  
セタモノデアリマス、ソレノ豫算ヲ前年度  
豫算ト比較シテ見マスルト、特殊經費トシ

テ詰リ義務的ニナツデ居ルヤウナモノヲ除  
イテ考ヘテ見マスルト、十六年度カラ見マ  
シテ、十七年度ノ豫算ト云フモノハ非常ニ  
殖エテ居ルヤウニ思フノデアリマス、豫算  
ノ總額ニ於キマシテハ一億七千九百餘萬圓  
ノ増加デアルノデアリマスガ、豫算ニ於テ  
御説明ノヤウニ今年度ハ最モ多イ豫算ガ組  
マレマシタ陸海軍ノ豫算、是ガ非常ニ減ツ  
テ居リマス、三十一億七千餘萬圓ト云フモ  
ノガ減ツテ居ル、從ツテ是ガ臨時軍事費ノ  
方へ行ツテ居リマスカラ、一般豫算カラハ  
減ツテ居ル、ソレニモ拘ラズ尙且總額ガ殖エ  
テ居ルノデアリマスカラ、非常ニ殖エテ居  
ルヤウニ見エル、ソレヲ仔細ニ尙検討シテ  
見マスルト、先程申上ゲマスルヤウニ、特殊  
ノ經費ヲ除キマシテ、一般經費ダケニ付テ  
見マシテモ、十七年度ノ豫算額ハ二十四億  
六千九百餘萬圓、ソレカラ是ハ十六年度ノ  
追加豫算ヲ合シタモノデアリマスガ、此ノ  
豫算ハ十九億八千餘萬圓、其ノ増額ガ四億  
八千餘萬圓、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマ  
ス、サウスルト其ノ割合申シマスト、一  
般經費ニ付キマシテ、約二割四分増額サレ  
テ居ルノデゴザイマス、更ニ昭和十六年度  
ニ於キマシテハ、追加豫算ヲ御組ミニナリ  
マヌ際ニ、既ニ決定シタ豫算ニ對シテハ實  
行豫算ヲ作ラレテ之ヲ減ラシテ居ラレル、  
實行豫算ニ於テ減額サレタモノガ四億八  
千萬圓、陸海軍ノ費用ハ今年大體ニ於テ臨  
時軍事費ニ入ツテ居リマスカラ、假ニ七億六  
千九百萬圓カラ四億八千萬圓ヲ別ニ差引ク  
ト云フコトニ致シマシテモ、二億八千九百

萬圓ト云フモノガ、前年度豫算カラ實行豫算ニ於テ減額サレテ居ル、斯ウナルノデス、サウナリマスト、前年度ノ主トシテ其ト、サウ云フコトニ相成ルノデアラウト思ヒマス、サウナリマスト、一般經費カラ差引クノデアリマスルカラ、ドウシテモ一般經費カラ差引クハ別ニ致シマシテ、大約十九億八千餘萬圓カラ二億八千九百餘萬圓ヲ差引クト、斯ウナリマスト云フト、前年度實行豫算ハ十七億餘萬圓ト云フコトニ相成ル、サウナリマスト云フト、今年ノ一般經費ノ二十四億六千九百餘萬圓トノ差額ハ、先程申上ダマシタ四億八千餘萬圓ニ二億八千九百萬圓ヲ加ヘマスト云フト、約七億七千餘萬圓ニナルノデアリマス、サウナルト十六年度ノ實行豫算ト十七年度豫算額ヲ比較致シマスト云フト、今申上ダルヤウニ七億七千餘萬圓増加シテ居ル、十七年度ガ增加シテ居ル、其ノ割合ヲ申シマスト、四割五分ト云フノガト比較スレバ二割四分植エテ居ル、ソレカラ十六年度ノ實行豫算ニ比較スルナラバ、十七年度豫算ト云フモノハ四割五分植エテ居ル、ソレハ植エル理由ガアルト云フ御話カモ知レマセヌガ、併シ私ハ少シ植エ過ギルノデハナイカト思ヒマス、何ガ多イカト言ヒマスト、一々申上ダマセヌガ、兎ニ角大體ニ於テ植エ過ギテ居ル、此ノ増稅ヲナル、斯ウ云フ大增稅ヲナルト云フ時機ニ於キマシテ、一般經費ガ斯クノ如ク二割四分植エルトカ、更ニ考ヘバ四割五分植

エルト云フガ如ク相成リマスルト云フコトハ、是ハ私ハドウ云フモノカ、或ハ私ノ申上  
ゲル言葉ガ言ヒ過ギルカモ知レマセヌガ、豫算ノ編成ノ仕方ガ放漫ニ流レテ居ルノデハ  
ナイカ、斯様ニモ考ヘルノデアリマス、サウナリマスト云フト、公債募集ニ應ズル者  
ニシマシテモ、喜ンデ之ニ應ズル、或ハ稅金ヲ納メルノデアリマシテモ、增稅ヲ負擔  
スルニ當ッテ甘ンジテ増稅ヲ負擔スル、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、其ノ民心ニ及  
ス影響ハ宜シクナイ、納メル人ノ心持ガ宜ラバ、此ノ際ニ於テハ戰爭遂行ニ要スル經  
費ノ外ハ總テ減サナケレバ、ナラナイノデアリマスガ、何ト云ツテモ豫算ガアルノデ  
ヤナイカト實ハ思フ、實際理窟カラ言フナト云フヤウナ心持ガ、御役所ノ方で餘リニ  
アルノデヤナイカ、二百四十億ノ中ニ於テハ、少々場合ニ依レバ五億、十億ハ大シタ  
コトハナイノデヤナイカト云フヤウナ心持ガ、豫算ニ出テ來タノデヤナイカ、ソレハ  
私ハイカヌ、斯ウ思フノデアリマス、ソレデ私ハサウ云フヤウナ心持ヲ持テ居ルノ  
デゴザイマスルガ、ソレデ私ハ御教ヲ願ヒタイト思ヒマス、今年ノ經費ガ左様ニ殖エ  
テ居ルガ已ムヲ得ナイモノデアルト云フコトハ本當ニ納得ノ出來マスヤウナ御説明ヲ  
頤ヒタイ、御教ヲ願ヒタイ、サウシテ私モ満足ラシ、一般ノ人モ満足スル、增稅ニ付  
テモ我々ガ喜ンデ之ニ協賛ヲ申上ゲル、國

○國務大臣(賀屋興宣君) 本年度一般會計ノ豫算ハ八十八億三千七百餘萬圓デ、前年度豫算約八十六億五千七百餘萬圓デアリマシテ、差引一億七千九百餘萬圓增加致シテ居リマシテ、餘り差ガナイヤウデアリマス、併シナガラ只今御述ニナリマシタヤウニ陸海軍兩省所管ノ經費ハ前年度ニ於キマシテ三十二億五千餘萬圓デアリマス、十七年度ニ於キマシテハ七千八百餘萬圓デアリマス、三十一億七千百餘萬圓ヲ減ジテ居リマス、從ヒマシテ、陸海軍省以外ノ各省、假ニ之ヲ文治各省ト言ヒマスルナラバ、其ノ豫算額ハ前年度豫算額ガ約五十四億七百餘萬圓、十七年度豫算額ガ約八十七億五千九百餘萬圓、差引三十三億五千百餘萬圓增加致シテ居リマス、是ハ御述ニナリマシタ通りデアリマス、又國庫豫備金ト致シマシテ五億一千萬圓ヲ増額致シテ居リマス、國債ノ利子其ノ他ニ於キマシテ五億五千四百餘萬圓ヲ增加致シテ居リマス、其ノ外御述ニナリマシタヤウニ、地方團體ニ交付致シマスル地方分與稅納付金會計ヘ一億三千二百餘萬圓ヲ增加致シテ居リマス、其ノ外御述ニナリマシタ思ヒマスガ、サウ殆ド義務的ニ、或ハ機械的ニ當然ニ出シマスヤウナモノガアリマス、假ニ之ヲ特殊經費ト、今モ御讀ミニナツタ思ヒマスガ、サウ萬圓ヲ增加致シテ居リマスルカラ、ソレ以外ノモノガ普通ノ行政費、其ノ言葉ハ必ズ

シモ適當デハアリマセヌガ、サウ云フモノ  
ガ前年度豫算額ガ十九億八千七百餘萬圓、  
十七年度豫算額ガ二十四億六千九百餘萬圓、  
圓、差引四億八千百餘萬圓ヲ増加致シテ居リ  
マスコトハ、是ハ御述ノ通りデアリマス、尙  
前年度豫算額ニ於キマシテ實行豫算上減  
ジタモノガアルト云フヤウナコトデアリマ  
スガ、此ノ數字ニ付キマシテハ陸海軍ノ經  
費ニ於キマシテ減ジタモノノ外ニ、國債費等  
ガ豫定ノ如ク要ラナイモノガゴザイマシテ減  
ジタモノモアリマス、ソレカラ又一般經  
費ニ於キマシテ一應節約シタイト存ジナガ  
ラ、其ノ後事態ノ必要ニ應ジ已ムヲ得ズ第  
二豫備金支出ヲ致シマスル前ニ於キ增加致シ  
タモノモゴザイマス、此ノ數字ハ私共今手許  
ニ持ツテ居リマセヌガ、十六年ノ實際カラ十  
七年ガ幾ラ軍備擴張ノ必要上經費ガ增加シ  
テ居ルカト云フコトハ、只今數字ヲ御述ニ  
ナリマシタガ、今之ヲ的確ニ幾許デアルカト  
云フコトヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、併  
シ何シロ豫算總額ヲ比較致シマシテモ四億  
八千餘萬圓ハ殖エテ居ル、斯ウ云フ御話ハ  
其ノ通リデアリマス、是ガ殖エマシタコト  
ニ付キマシテハ政府ノ方針ト致シマシテ何  
ト致シマシテモ、戰爭ヲスル力ヲ造ルト云  
フコトハ非常ニ急務ト考ヘテ居リマス、其  
ノ爲ニ戰爭ヲ遂行スルニ必要ナル所ノ生産  
ノ擴充ハドウシテモ致ス、又低物價政策ヲ  
維持シマス爲ノ特殊ノ補助金ハ、是ヘ出ス  
ト云フ考デアリマス、ソレカラ國民ノ健康  
ヲ維持シマスルヤウナ爲ニ必要ナコトニハ  
出來ルダケ施設ヲ盡ス、前線ノ將士ノ補充  
ハ國民ノ間カラ出ルノデアリマス、銃後ニ  
於ケル各種ノ生産、運輸其ノ外各種ノ活動  
モ銃後ノ國民ガ致スノデアリマス、ドウシ

テモは努メバナラヌ、又藝術、技術ニ  
法ハ講ジナケレバナラヌノデアリマス、斯  
ウ云フ見地ニ於キマシテ本會議ニ於キマシ  
テモ、亦算總會ニ於キマシテモ、本年度豫  
算ニ於ケル新規ノ各重要ナル事項ニ付キマ  
シテハ、數項目ニ亘リマシテ申上げタノデ  
アリマス、只今チヨット手許ニアリマス數  
字ニ付テ申上げマシテモ、石炭ノ增産ニ付  
キマシテ、此ノ増産ヲ可能ナラシメ、而モ  
政府が維持スルヲ必要ト認メマス價格ニ維  
持シマス爲ニ、生産費ト其ノ價格ノ差ヲ補  
填シマスル爲ニ、石炭增産ニ要スル經費モ  
昨年ヨリ一億五百萬圓モ殖エテ居ルノデア  
リマス、更ニ又中小工業其ノ他大工業ニア  
リマシテモ、產業ノ再編成ト云フコトハ今  
極メテ重要デアリマス、急速ニ船ヲ造リマ  
ス爲ニハ或一部ノ設備ヲ「スクラップ」ニ致ス  
ト云フヤウナ焦眉ノ急ニ迫ラレテ居リマス  
ガ、斯様ナ轉廢業全體ニ於キマシテモ、四  
千三百萬圓、十七年度ノ方ガ十六年度ヨリ增  
加致シテ居リマス、其ノ外中小工業ノ再編  
成ノ方デ三百萬圓、米其ノ他ノ食糧ノ增産  
デ二千五百萬圓、又重要物資、食糧其ノ他  
ノモノデ餘剩ノアリマスモノハ之ヲ管理  
シテ空襲ナドノ場合ニ於キマスル色々ノ配  
給ノ準備ヲ致ス、其ノ外將來ノ準備ヲ致ス  
ト云フヤウナコトニモ二千七百萬圓モ昨年  
以上ノ計上ヲ致シテ居リマス、又食糧増産  
ノ爲ニ農地開發營團ニシテモ、七百萬圓昨  
年ヨリ増額致シテ居リマス、尙國民ノ健康  
ノ其ノ他ヲ考ヘマシテ他ノモノニモアリマス  
ガ主トシテ國民健康保険ノ方デ七百萬圓、  
又は官吏及公吏ノ家族ノ手當デアリマス  
ガ、是等ノモノモ一千六百餘萬圓ノ計上ヲ致

シテ居ルヤウナ次第アリマス、又最近ニ於  
國策上非常ニ重大ナルコトデアリマスガ、斯様  
ナコトデモ六百萬圓増額ヲ致シテ居ルヤウナ  
工合デアリマス、其ノ外防空ニ付キマシテ千四  
百萬圓ノ増額ガゴザイマスルシ、傷痍軍人ノ  
療養ニ關シマシテモ千九百萬圓ノ増額ヲ致シ  
テ居リマス、ソレカラ航空機ノ搭乗員ノ養成ト云  
成ト云フコトハ、實ニ航空機ガ殆ド勝敗ノ  
決ヲ決メマスニ重要ナコト今更申上ゲル迄  
モゴザイマセヌガ、之ニハ如何ニ器材ガ出  
來マシテモ優秀ナル搭乗員ヲ必要ト致シマス  
ノデ、ソレハ單ニ陸海軍ノ養成ノミナラズ、  
非常ナ是ハ最大ノ力ヲ以テ此ノ養成ヲ必要  
ト致シテ居リマスルガ、其ノ陸海軍ノスル  
養成以外デモ千五百萬圓モ増加致シテ居ル  
ヤウナコトモゴザイマス、尙細カイコト  
ヲ申上ゲマズレバ、「アルコール」ヲ特別  
會計ニシテ、別個ノ特別會計ニ致シマシタノ  
爲ニ、「アルコール」ノ專賣ニ於ケル損失ヲ  
煙草ノ益金ニ依テ差引イテ居リマシタノ  
ヲ、今度ハ「アルコール」ノ損失ヲ差引カナ  
イデ煙草ノ益金ハ殖エ居リマスガ、「アル  
コール」ヲ獨立ノ會計ニ致シマシタ結果、一  
般會計カラ「アルコール」ノ損失ヲ補填ス  
ル、之ニモ一千五百萬圓要ル、其ノ外色々  
アリマスガ、今申上ゲマシタモノデモ三億  
二千萬圓位ニハ相成リマスルノデ、誠ニ此  
ノ時局ノ下デ已ムヲ得ナイトイ云フ經費ガ非  
議會デ私共伺ヒマシテモ或一ツノ經費ニ付  
常ニ澤山ニナッテ參リマシタノデアリマス、  
其ノ爲ニ已ムヲ得ナイ増額デゴザイマス、  
議會デ私共伺ヒマシテモ或一ツノ經費ニ付  
常ニ政府ノ施設ガ不十分デハナイカト云フ

御説ノ方ガ寧ロ多ク拜聴致シテ居ル位アリマス、尙一々ノ經費ノコトモアルノデゴザイマスガ、政府ノ全體ノ心掛ケト致シマシテハ、先般モ臨時軍事費ノ豫算ノ計上其ノ他ニ付キマシテ、又ソレニ伴ヒマシテ公債發行ノ増加致シマシタニ付キマシテ、畏イ御言葉モ頂戴致シタノデアリマスガ、其ノ際政府ハ其ノコトニ付キマシテ謹話ヲ發表致シタノデアリマスルガ、ソコニ於キマシテモ一面非常ナル公債消化等モ肝要デアリマスガ、政府ト致シマシテハ釐毫ノ經費モ苟クモシナイト云フ心構ヲ常々持ッテ居リマスノデ、此ノコトモ申シ添ヘタヤウナ譯デアリマス、又執務ノ實際カラ申シマシテモ、豫算編成ノ局ニ當リマス主計局長以下是等ノ人々ニ於キマシテモ昨年ノ秋以來、簡単ニ申シマシテ不休不眠デゴザイマス、此ノ一月ニナリマシテモ、此ノ二十日ノ議會ノ再開迄ニ恐ラク平均一時間以上ノ睡眠ヲ取ッテ居ラナイ者ガ多イト思ヒマス、近頃私ハ人道問題デアルト始終思ッテ居リマス、私自身モ相當ナ經驗ヲ持ッテ居リマスガ、非常ニ不眠不休デ努力致シテ居リマス、近頃ノ總テ食事ナドア不自由ノ際、食事モ思フヤウニ取レナイト云フ状態デアリマス、之ヲ簡単ニ申上げマスレバ各省ノ方ノ經費ノ要求ヲ鵜呑ニ致シマストカ、或ハ簡単ニ引受ケマスナラバ何モ左様ナ努力ハ要ラスノデアリマスガ、出來ルダケ此ノ事態ニ於テ必要ナ事ハ致サナケレバナテヌガ、無用ナシフレヲ防ギマス上カラ申シマシテモ、物資其ノモノノ用途ヲ節約スル意味カラ申シコトハ出來ルダケ之ヲ避ケテ行キタイ、是ハ國民ノ負擔ノ上カラ申シマシテモ、又「イ

心ノ餘リデアリマス、單純ニ官吏ノ義務ト  
ケハ持チマシテ皆致シテ居ル譯デアリマス、  
理由ガアリマシテノ要求デアリマスルガ、  
ソレモ今申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ依ツテ  
スルト云ラ譯デアリマセ、皆ソレド  
併シナガラソレハ各省ガ唯徒ラニ經費ヲ要求  
スルト云ラ譯デアリマセ、皆ソレド  
ヤツテ居リマスルノデ、決シテ仰セノ如ク、ド  
ウモニトハドウデモ宜イト云ラヤウナコト  
ハ、毛頭アリマセヌ、少額ノ經費ニ至ル迄、  
實ニ夜遲タ迄、明ケ方迄モ交渉致シテ居ル  
ヤウナコトデアリマス、此ノ點誤ア解リマ  
スルト、誠ニ努力致シテ居リマス者ニ取シテ  
モ甚ダ遺憾デアリマスルシ、シレハ兎モ角  
ト致シマシテ、國民全體ニ政府ガ行届カヌ  
所ハゴザイマスルガ、眞面目ニヤツテ居リマ  
スル點ニ付キマシテハ、御了解ヲ願ヒタイ  
ト思ヒマヌノデ、何卒左様御了承願ヒタイ  
ト存ジマス

ソレ程切詰メラレテ御ヤリニナリマシタナラバ、今度ノ十七年度ノ豫算ナルモノハ、モウ之ヲ實行豫算ヲ作ルナント云フコトハ、地ハ絶対ニナイト云フ、非常ニ切詰メタカレバ、モウ實行豫算ナシカ出來ヌト云ヲ位ノモノデヨサムアイマセウカ、ドウデモウカト云フコトガ一點……尙又新タニ増加サレマシタ經費ニ付キマジモ私意見ガゴザイマスルガ、既ニ使バレテ居ル、前カラ使バレテ民衆經費デス、ソレハ色々治水ノ事業費モアリマセウ、又河川ノ費用モゴザオマセウ、港灣ノ費用モゴザイマセウ、色々費用ガ澤山アル、ソレ等ノ費用ニ付テ、モウ少シタル經費切シテ削減出來ヌモノデアルカ、斯ウ云フヨトモ者ヘルノデアリマスガ、其ノ邊モドウデセサカ、所謂既定經費ヲ減スト云フコトニ付テ、ドウデセウカ、ソレカラ増額モダインデゴサイマス、先程大藏大臣御話デギダインノデゴサイマス、モウ少シ多クシタラドウカ、斯ウ云フ話ガニ付キマシタガ、色々經費ヲ組シダ處ガアシラヨチラニ付テ、ソレハアルト思ラノデゴザイマス、モノデアルカト云ラコトヲ更ニ御尋求申上ナリマスガ、ソレハ之ラ譬ヘテ見マスナラバ、衆議院ノ方々ニ於テ、自分ノ郷里附近ニ費ヤサル費用、或ハ自分ノ極メテ直接シテ居ラレル事業ニ關係スル費用ト云ツモノハ、如何ニモ少イヤウニ見エルノデアリマス、本當ニ

此ノ大難局ハ突破出來ヌト私ハ思フ、サウ云フヤウナコトヲ思テ居ルノデゴザイマスガ、先程更ニ御尋ネ致シマシタ點ニ付テ尙御答ヲ得マヌレバ幸ヒダト思ヒマス  
○國務大臣(賀屋興宣君) 只今御尋ノ中ノ實行豫算ノ問題デアリマスガ、本年ハ實行豫算ヲ編成ヲ致ス考ハ持ツテ居リマセヌ、唯是ハ資材、労力其ノ他ガ獨リ政府ノ豫算ト言ハズ國家ノ生産擴充全體ニ關係致シマスモノデ、是等ノ需給ヲ一應ノ見込ヲ立ツテノ上デモアリマスガ、ソレニ大キナ變化ガ參リマシタ場合ニハ已ムヲ得ズ實行豫算ト云フコトモ起ルカモ知レマセヌ、只今ハ其ノ考ヲ持ツテ居リマセヌ、治水費ニ付キマシテハ本年度ハ大體治水費、港灣費等ノ土木事業ニ於キマシテハ、是ハ港灣等ニ於キマシテハ輸送ノ關係デ極メテ重要ナモノデアリマス、又貴重ナ船舶ノ海難ノ方カラ申シマシテモ重要ナ問題デアリマス、又治水ニ付キマシテハ國土ノ保全、食糧ノ増産、水害豫防、其ノ治水ニ付キマシテハ非常ニ今ノ緊要ナ國家設備等ニ付テノ問題モアリマスノデ一面カラ申シマスト、此ノ計上ハ非常ニ計上ラ致スベキ理由ハ多イノデアリマスガ、併シナガラ豫算編成ノ時ハ何様戰爭當初デアリ、今モ當初デアリマス、長キ事業ニ付テ、今計畫スルノハ適當ナイト存ジマスノデ、身體直グ效果ガ舉ガリマスモノ又直グ必要ガアリマスルモノ、工事期間ト致シマシテ三年間ヲ限ツタモノヲ若干計上致シマシタノデアリマス、尙既定ノ治水工事ニ付キマシテハ、何レモ全額ガ一河川ニ港灣當リノ金額ガ少クアリマシテ、工事ノ效率カラ言ヘバ寧ロ不適當デハアリマスガ、全般ノ資材其ノ他ノ關係ヲ考ヘマシテ、相當思ヒ

○松村義一君 色々費用ノコトニ付テ御説明デアリマシタガ、ドウモ私ト致シテハ只今ノ御説明デハ成ル程是ハ仕様ガナイ、サウ云フ納得ハ出來マセヌ、實際ハザックバラランノ處鬼ニ角ニ々舉ゲラマスルナラバ國家ノ費用デゴザイマスカラ、無益ナ費用ハ無論ナイ、無益ナ費用ハナイケレドモ、誠ニ緊急已ムヲ得ザルモノデアルカドウカト云フコトニ付テハ非常ニ疑點ガアルト私ハ思フ、ソレハ見方デアリマスカラ水掛論ニナリマス、是ハ緊急已ムヲ得ザルモノト政府ハ言ハレ、コチラハサウデナイト言フ、是ハ水掛論ニナリマスケレドモ、本當ニハ節約シテ行クト云フ考ナラバ出來ナイ途ハナインデハナイト思フ、唯大藏省トシテハ出來ルダケ節約スルト云フ御考ニハ違ヒアリマセヌガ、一方カラ言ヘバサウ云フ御考ニハキヤウガ下手デアツカモ知レヌガ、マア澤山ノ豫算ダカラ少々位ハマア何トカナラウト、斯ウ云フヤウナ考ハアリハシナカッタカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、サウ云フコトモ杞憂トシテハ持ツテ居リマス、各省トシテハ自分ノ仕事ヲヤッテ行ク

ハ寧ロ自分ノ眼先ダケヲ考ヘテ、大局ヲ知  
ラヌノダト思ヒマス、各省大臣ガサウダラ  
ウト思フ、モウ少シ國務大臣トシテ各省大  
臣ガ考ヘラレルナラバ、非常ニ宜イノデヤ  
ナイカト、斯ウ思フノデアリマス、遺憾ナ  
ガラ今ノ大藏大臣ノ御説明ニ能ク承服ガ出  
來マセヌ、尙今年モサウデアリ、更ニ十八  
年度ノ豫算ヲ組ムノモ矢張リ此ノヤウナ御  
考デ御ヤリニナルト云フコトニナリマスル  
ト、一層私ハ寒心ニ堪ヘナイモノガアル、  
固ヨリ今日ニ於キマシテ此ノ十七年度ノ實  
行豫算ヲ御作ニナルト云フ御考ハ今ゴザリ  
マセヌデセウ、アルトハ申サレヌ、併シナ  
ガラ此ノ豫算實行ニ當ツテハ能ク私ハ御注  
意ヲ願フノガ宜イノデハナイカ、而シテ豫  
算ヲ將來御組ミニナルニ付キマシテモ一層  
ノ御留意ヲ願ヒタイト思ヒマス、斯様ニ思  
ヒマス、是ハ單リ大藏省ダケノ問題デハナ  
イ、各省ノ問題デアル、更ニ言ヒ換ヘレバ  
總理大臣ガ各省監督ノ問題デアル、國民モ  
其ノ氣分デ居ラナケレバハイカヌ、ドンヽ  
アノ費用ヲ増シテ下サイ、此ノ費用モ増シ  
テ下サイト云フコトヲ陳情ヲスルヤウデヤ  
イカヌト私ハ思フ、是ハ眞劍味ガ足ラヌ、  
今度ノ戰爭ガ如何ニ重大デアルカト云フコ  
トハ國民ニ分ラヌ、政府ニ分ラスト思フ、  
政府ニ分ラスト云フコトハ失禮デゴザイマ  
スガ、政府ニハ御分リナッテ居ルカモ知  
レナイ、御分ニナッテ居ルノデゴザイマセ  
ウガ、併シ本當ニ其ノ眞劍味ガマダ足ラヌ  
ノデヤナイカ、斯ウ迄思フノデゴザイマス、  
ソレデ更ニ又此ノ點ニ付キマシテ、或ハ又  
私ノ考ガ誤リカモ存ジマセヌケレドモ、明  
日本會議デ希望ダケハ述べテ置キタイト斯

○國務大臣(賀屋興宣君) 大體考ハ申上ゲ  
誤リデアルト云フコトヲ的確ニ御示ノ事柄  
デモゴザイマスルナラバ、幸ニ一ツ御示ヲ  
願ヒ、御教ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○國務大臣(賀屋興宣君) 大體考ハ申上ゲ  
マシタダケデ外ニ申上ゲル程ノコトモアリ  
マセヌガ、此ノ戦争、時局ト云フモノヲ真  
ニ認識シテ行ク、ソレヲ豫算經費ノ使用ノ  
上ニ現ハス心意氣ニ付テハ全ク同感デアリ  
マス、別ニ只今ソレニ付テ申上ゲル程ノコ  
トモゴザイマセス  
○副委員長(男爵松岡均平君) 宜シウゴザ  
イマスネ、ソレデ……大藏大臣ニ御質問ノ  
方ガゴザイマスカ  
○三浦新七君 時間ガアリマスレバ御伺ヒ  
致シタイト思ヒマスガ……  
○副委員長(男爵松岡均平君) ドウゾ……  
○三浦新七君 差向キ此ノ議案ニハ餘り直  
接ノ關係ハナイ譯デゴザイマスガ、今度ノ  
改革案ニ付テハ關稅問題ト云フコトニハ少  
シモ手ヲ染メテ居ラレナイ譯デアリマスガ、  
何レ是ハ是カラモ問題ニナルコトグラウト  
思フノデアリマス、其ノ點ニ付テチヨクト大  
藏大臣ノ御意図、御意見ヲ伺ッテ置キタイト  
思ヒマス、斯ウ云フ工合ニ世ノ中ガ變ッテ參  
リマスト、關稅ト云フモノノ目的ハ何レ產  
業ヲ維持シ、收入ヲ得ルト云フコトニ變リ  
ハナイノデアリマセウガ、其ノ方法ガ「ブロッ  
ク」以外ノモノニ對スルモノト、「ブロック」  
内ニ對スルモノトハ相當ニ相違ラ來タシテ  
識ニ考ヘマシテ、是カラ南方ノ方ハマニア  
はカラ先ドウ云フ工合ニナリマスカ、今ノ  
軍が色々ナコトヲヤラレテ居リマスカラ問

題ハアリマセヌガ、「タイ」佛印ト云フヤウナ方面ニ於テ相當ナ物價ノ騰貴ト申シマスカ、此ノ物ニ依ツテハ下ル傾向ヲ持ツタモノモアリマセウガ、其ノ外ノモノニ於テハ相當高クナル關係ヲ持ツテ居ルト云フヤウナル狀態ヲ呈シテ居ヤシナイカ、其ノ關係ガ丁度今ノ北支那、或ハ滿洲ト云フヤウナ方面ト同ジヤウナ狀況ヲ呈シテ來、ソレニ依ツテ内國ノ低物價政策ノ維持ト云フヤウナコトガ非常ニ困難ニナツテ來ル、面倒ニナツテ來ルト云フヤウナ現象ガ起リハシナイカト云フコトヲ心配致ス譯デアリマス、無論今ノ處、占領地ニ付キマシテハ相當量ガ當分ノ間輸出入ノ關係ヲ獨占スルト云フ、斯ウ云フ建前デアリマスカラ、ソレハ或ハ問題ハ解決ナツテ來ヤシナイカ、日本カラ輸出スルモノガ安クテ、向フカラ來ルモノガ高イ、斯ウキマシテハ、ドウモサウ云フヤウナ傾向ニニ對シテハ依然トシテ其ノ問題ガ起ツテ來ル譯ナノデアリマス、此ノコトニ對シ別トシマシテモ、滿洲、中華民國ト云フ國スルカモ知レマセヌガ、其ノ以外ノ所ニ於テ是迄所謂調節ト云フ制度デ何トカ補ツテ來ルト云フ方針ニナツテヤッテ居ラレタヤウデアリマスガ、是ガ實際ニ於テ十分ニ働く事イテ居ラナイト云フコトハ、是ハ大臣自ラ實際ノ狀態ヲ見テ居ラレルノデ御承知ノコトデアラウト思フノデアリマス、其ノ問題ト云フコトガ是カラ先「ブロック」内ニ於ケル關稅政策ノ對象ニナリハセヌカ、今迄ノ此ノ統制料ト云フコトニナルト、其ノ積立テタ金ガ何處ニ歸屬スルカ、

統制料ガ何處ニ歸屬スルカト云フコトガ相當アヤフヤナ所ガアル、第一、金高ガ上ラスト云フヤウナモノヲ關稅ト云フ固定シタ定メデアリマス、無論其ノ物價ノ高低ノ差額ト云フヤウナモノヲ關稅ト云フ固定シタ定期ヲ以テ全部「カバー」スルト云フコトハ、出來ナイ話ナノデアリマス、併シ大臣モ度々色々々ナ方面デ言ハレル通りニ、同ジヤウナコトヲヤラウト言ッタ時ニ、色々々ナ方面カラ之ヲ定メテ行ク必要ガアル譯ナンデアリマス、詰リ或程度迄關稅デ抑ヘ、其ノ外ノ方ハ組合ノ謂ハバ自治ト云フ意味デ是等ノ統制料デ抑ヘル、或モノハ爲替ノ關係デ抑ヘルト云フヤウナ方法ヲ講ジテ行ク方ガ、是ハマア色々々手續上ノコトニ付テハ面倒ガアルト思ヒマスガ、此ノ問題ヲ關稅ト云フヤウナ方面カラ解決シヨウト云フヤウナ御考ガアルノデアリマセウカ、其ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

云フ必要モアリマセヌ、大體有税品ハ製品  
デアリマシテ、ソレハ第三國カラ參ルモノ  
ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、豫算デ御  
覽ノ通リ關稅收入モ四千萬圓デアリマス、  
兎ニ角ソレハ見ル影モナイヤウニ減ッテシ  
マヒマシタ、大體輸入關稅方面ニ付キマシ  
テハ、只今ノ處、特ニ施策スル必要ハアリ  
マセヌ、結局御尋ハ輸出關稅、輸出稅トモ  
言フベキ方面ニ行クカト思フノデアリマス  
ガ、此ノ點ニ付キマシテハ、殊ニ速記ヲ停  
止シテ申上ゲル程デアリマセヌガ、マア  
一應止メテ置イテ議キタイト思ヒマス  
○副委員長(男爵松岡均平君) 速記ヲ止メ  
テ……

キ點ガ相當アルノデアリマス、ソレデ今日モ斯ウ云フ案ガ出テ居ルヤウナ次第デアリマスルガ、然ルニ、時ニ此ノ分與稅制度ニ對シマシテ色々ツタ議論ガ出テ居ルト思ヒマス、現ニ、詳シイコトハ讀ミマセヌガ、衆議院等ニ於キマシテモ異ッタ意見ガ出テ居リマスル、餘リニ國稅ニ依存ラシテ、國稅ノ影響ヲ受ケルコトガ、甚ダシイ、地方財政ガ歸向スル所ヲ知ラナイト云フヤウチ結果ヲ見ル狀況デアル、サウシテ市町村當局者ノ如キハ、是ノ制度ノ爲ニ官治ノ行政ニ依存ラシ、自治ノ精神ナリ自治ノ方法ナリト云フモノガ非常ニ阻害サレル、市町村ノ自治制ト云フモノヲ迫害スルヤウナ結果ニナリ、サウ云フヤウナ思想ヲ市町村民ニ植付ケルヤウナ影響ヲ與ヘルモノデアル、宜シク一ツ他ノ普通ノ地方稅制ニ復活スペキ必要ガアルト云フヤウナ說ヲ爲シテ居ル者スラアルヤウニ存ジマス、私ハ是ハ餘程考ヘ物ダト存ジマスルガ、色々國稅制度ノ變動ニ依リマシテ、殊ニ過渡ノ此ノ時トシマシテ、色々稅法ヲ動カシタリ、手ヲ着ケタリスルヤウナコトガ毎年起ツテ來ル、ソレ等ノ状況カラ此ノ制度ヲ云々スルト云フコトニナリマシテ、サウシテ此ノ制度ハイケナイト云スヤウナコトニナリマスト、甚ダ遺憾千萬ダト存ジマス、宜シク是ハ是正すべき處ハ是正サセテ、サウシテ完璧ナル制度ニ將來進メシヌ得ベキモノトモ考ヘルシテ、地方當局ハドンナ御意嚮ヲ持ツテ居リマスカ、参考ノ爲ニ承リタイト思ヒマス〇政府委員(邊澤三千男君)只今大森男爵カラノ地方分與稅ニ關スル内務當局ノ見解

ヲ御尋デゴザイマシタ、御話ノ通りニ此ノ制度ハ長年ノ研究ノ結果ニ依リマシテ確立セラレマシタヤウナ譯デアリマス、又從來地方制度トシテノ戸敷割等ガ非常ナ弊害ヲウ云フヤウナ分與税制度ヲ確立スルヨリ外ニ途ハナイ、ト云フヤウナ朝野ノ研究ノ結果到達致シマシタ制度デアルト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ制度ハマダ施行後年數ガ極メテ短ク、謂ハバ經過年度中ニ屬シテ居リマシテ、全面的ノ發動ヲ見テ居ランイト云フヤウナコトデアリマスルカラ、輕々ニ之ノ價值ヲ判断致シマシテ此ノ制度ヲ廢メタラドウカト云フヤウナ意見ハ早計シマシテモ考ヘテ居リマス次第デアリマス、ナ意見デハナイカト斯様ニ存ジマスルノデ、此ノ點ハ大森男爵ノ御話ノ通りニ當局ト致シテ、財政上相當困難ノ地方ノアルコトモ今ノ處先づ此ノ戦争ノ爲ニ地方團體ガ時局費其ノ他ノ經費ガ非常ニ増加致シテ參リマシテ、アルカノ如クニ誤解セラレテ事實デアリマス、是ガ爲ニ地方團體ノ財源ガ不足ラシテ居ルト云フ事實ガ偶、制度其ノモノノ不備デアルカノ如クニ誤解セラレテ居ル向ガアルノデハナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマシテ、左様ナ事情ヲ除キマスルト云フト、大體ニ於テ分與税ト云フ制度ハ初期ノ目的ヲ相當ニ達シツ、アルヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス、併シ今申上げ上ノ困難ヲ生ジテ居ル向モゴザイマスルシ、又元來農山漁村ノ方面ニ於キマシテ、財政云フヤウナ方面ニ於キマシテハ収益税附加税ノ甚ダ高率デアルト云フ向モアルノデア調整ノ困難ナ方面モアリマスルカラ、サウ

リマシテ、斯ウ云フ點ニ付テハ相當ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス次

リマシテ、斯ウ云フ點ニ付テハ相當ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト考ヘて居リマス次第デアリマス、自然今御話ニナリマシタヤウナ是正スベキ點ヲ十分探究致シマシテ、其ノ是正ヲ要スル點ニ付テハ大藏當局トモソレヲ徹底セシメルコトニ依ツテ財政ノ緩和ナリ、財源ノ確保ト云フコトガ出來テ、地方財政ノ爲ニ良クナルヤウニ考ヘマスルガ、同時ニ是ハ委任事務ト國有事務ト區別カラ考ヘルコトデアリマスガ、其ノ區別ハ

ヘルノデアリマス、從ヒマシテ、當然國費ニ屬スベキモノハ之ヲ國費トシ、地方ノ食糧擔押明カニシテヤルト云フコトハ誠ニ御尤モ、此ノコトニ付テハ何ト力盡力ヲシナケヌ。

○副委員長(田畠松岡均平君) 速記ヲ始メ  
テ……ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シ

マス、明日ハ午後一時カラ  
午後四時十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯靜禪山
副委員長	男爵松岡
委員	均平君

公爵島津  
忠重君

侯爵大隈  
信常君  
美濃守二  
三郎吉

例爵并上三郎君

關屋貞三郎君

子爵野村 益三君

子簡不濟內難卷

中川健藏君

平塙  
廣義君

内田 重成君

紫田善三郎君  
田豊

日進 漢道書  
男爵大森 佳一君

男爵中御門經民君

三浦新七君

堀 啓次郎君

野村 德七君

下出 民義君

中島徳力貞君

男爵古市 六三君

正

大藏大臣賀屋興宣君

第四部第一六類 所得稅法中改正法律案特別委員會議事速記錄第三號

昭和十七年一月九日

貴族院

リマシテ、斯ウ云フ點ニ付テハ相當ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト考ヘテ居リマス次第デアリマス、自然今御話ニナリマシタヤウナ是正スベキ點ヲ十分探究致シマシテ、其ノ是正ヲ要スル點ニ付テハ大藏官局トモ十分交渉ヲ重ネ、適正ナル狀態ニ參リマスルヤウニ努力ヲシタイト斯様ニ考ヘテ居リマス、根本ノ趣旨ニ於キマシテ全ク大森男爵ト同一ノ意見ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

ソレヲ徹底セシメルコトニ依テ財政ノ緩和ナリ、財源ノ確保ト云フコトガ出來テ、地方財政ノ爲ニ良クナルヤウニ考ヘマスルガ、同時ニ是ハ委任事務ト國有事務ト區別カラ考ヘルコトデアリマスガ、其ノ區別ハナカヽムツカシクアリマスルガ、國有事務ノ方ガドウモ増高スル、益々背負ハサレル委任事務ノ爲ニ壓迫ヲ蒙リマシテ、市町村ノ固有事務ト云フモノガ伸ビナイ關係ニナルカト思ヒマス、市町村ノ固有事務ノ發達スルコトヲ阻害スルト云フ懸念ハ從來カラ私共持ツテ居ッタノデアリマスルガ、之ノ固有事務關係ニ付テハ分與稅制度ノ上ニ何カ特殊ナ取扱ヲシテ、財源トシテ安全ニ確保サレルヤウナ分與稅ノ制度ノ上ニ何カ區分的ノ處置ヲ法制上執ルヤウナ途ハアリマセヌデセウカ、私モ明確ナ意見ハ持ツテ居リマセヌケレドモ、何カ將來ニ於テ之ヲ解決スベキ御意嚮ハナイダラウカト考ヘマスガ、多少御考ガアレバ承リタイト思ヒマス、サウ精シイコトデナクテモ宜シウゴザイマス○政府委員(湯澤二千男君) 負擔區分ヲ明カニ致シマシテ、之ヲ徹底セシムルト云フコトニ付テノ御意見、是ハ誠ニ御尤ニ感ズル點デアリマス、一面ニ於テ此ノ財源ヲ附與スルト致シマシテモ、支出ノ方ニ於キマシテ此ノ區分ガ明カニナラナイガ爲ニ、當然國其ノ他ニ於テ負擔スペキモノヲ地方團體方負擔ヲセナケレバナラナイ、當面ノスノデ、之ガ或程度迄山積ヲ致シテ參リマシタ結果、地方財政ニ非常ナ壓迫負擔ヲ生フヤウナ事柄ガ非常ニ多イヤウニモ思ヒマジテ居ルト云フヤウナ方面モアルヤウニ考

ニ屬スベキモノハ之ヲ國費トシ、地方ノ負擔ヲ明カニシテヤルト云フコトハ誠ニ御尤モ、此ノコトニ付テハ何トカ盡力ヲシナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、先般此ノ地方稅制ノ根本的ナ制度改革ヲ致シマスル際ニ於キマシテモ、或ハ警察費ノ負擔ニ付テ、從來ノ程度ヨリモ其ノ負擔ノ區分ヲ明カニシテ、地方ノ負擔ヲ輕クスル、又教育費ノ點ニ付キマシテモ、之ヲ明カニスルト云フヤウナコトヲヤッテ參ツテハ居リマスルガ、併シ御話ノ通りマダ十分デナインデアリマシテ、是ハ何トカ各省ト協力ヲ致シ、此ノ區分ヲ明カニシマセヌケレバ、結局地方財政其ノモノガ行詰リヲ生ズルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘマスルノデ、一面ニ此ノ稅制制度ノ根本的改正ト同時ニ、此ノ支出ノ方面ニ於ケル努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、又御話ノアリマシタ地方ノ固有事務ニ對シマシテ、分與稅ノ財源ヲ一定ノモノヲ確保スル、其ノ仕事ダケニ此ノ財源ヲ使フ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ハ、或程度採り入レラレテハ居リマスルガ、併シ非常ニ示唆ニ富ミマシタ御話デアリマシテ、是ハ今後共十分ニ研究ヲ致シマシテ、財源確保ガ出來マスルヤウナ、更ニ一層其ノ程度ガ増シマスルヤウナ途モ同時ニ研究致シタイ、斯ウ思ツテ居リマス〇副委員長(黒崎松岡均平君) チョット速記ヲ止メテ……

出席者左ノ如シ	○副委員長(男爵松岡均平君)	速記ヲ始メテ……ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午後一時カラ閉會致シマス
午後四時十五分散會		
委員長	伯爵樺山	愛輔君
副委員長	男爵松岡	均平君
委員		
	公爵島津	忠重君
	侯爵大隈	信常君
	侯爵井上	三郎君
	子爵青木	信光君
	開屋貞三郎君	
	子爵野村	益三君
	子爵大河内輝耕君	
	子爵綾小路	護君
	中川	健藏君
	平塚	廣義君
	吉田	茂君
	内田	重成君
	柴田善三郎君	
	田邊治通君	
	男爵大森佳一君	
	男爵中御門經民君	
三浦	新七君	
松村	義一君	
堀	啓次郎君	
野村	徳七君	
下出	民義君	
上野喜左衛門君		
男爵古市六三君		
中島徳太郎君		
上野喜左衛門君		
國務大臣		
大藏大臣		
賀屋興宣君		

政府委員

內務次官	湯澤三千男君
內務省地方局長	成田一郎君
內務書記官	小林千秋君
太藏次官	谷口恒二君
大藏省主稅局長	松隈秀雄君
大藏書記官	深澤家治君
同	池田勇人君
專賣局長官	平田敬一郎君
	山岡鐵之助君

昭和十七年二月十二日印刷

昭和十七年二月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局